

# 令和6（2024）年度 事業報告

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

大阪福祉人材支援センター

研修グループ

# 令和 6（2024）年度 大阪福祉人材支援センター 研修グループ

## 事業報告

新型コロナウイルス感染症の流行も 5 年が経過し、社会的には大きな影響は少なくなってきたが、福祉現場ではクラスターも発生しており今も感染対策に注力している。また、世界情勢等を受けての物価高の中、コロナで浮き彫りとなってきたフリーランスをはじめ、非正規雇用、外国人労働者などの生活困難等、さまざまな課題への対応が求められている。さらに、数年にわたり停止・停滞した地域活動も再始動しつつあるがコロナ渦以前と同じようにはいかず、新たな活動のあり方、担い手の確保などが模索される状況にある。

こうした状況下において、福祉現場では引き続き人材確保・定着育成が大きな課題であり、職員体制等の事情があって外部研修に派遣しづらい環境が続く中、今年度については、開催方法等を工夫するなどし、研修参加者実績は全体として増加することができた。

研修グループとしては、研修目的や現場の声も踏まえ、集合研修とオンライン研修、オンデマンド研修のバランスを考慮して研修を企画・実施した。特にオンデマンド研修では、施設単位で受講できるようにし、多くの受講者を得ることができた。また、CSW等の地域福祉のコーディネーター基礎研修や現任者向けスキルアップ研修も拡充を図り実施している。

民生委員研修については、昨年度に比して集合研修の枠を増やして実施し、委員相互に意見交換をする時間を設けて、訪問や地域行事等の活動再開に向けた具体的な情報交換を行うとともに、日々の実践に役立つ研修の充実を図った。

また、4階層におけるキャリアパス対応生涯研修については、全て集合研修での開催となった。集合研修での良さを改めて確認する機会にもなったが、コロナ渦の影響もあるのかグループワークに積極的に参加できない受講者の方も少しではあるが確認された。

振興基金を活用したアウトリーチ型研修は 68 団体に活用いただき、例年より 10 団体ほど多い規模での開催実績となった。さらに、「介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修」についても例年通り開催し、研修ニーズに応えることができた。

### 1 「研修運営委員会」「研修専門委員会」等の開催

#### (1) 研修運営委員会

3月14日 ①令和6年度事業報告 ②令和7年度研修計画

#### (2) 専門委員会

- ・老人施設課程研修専門委員会 1回(2月6日)
- ・教育・保育施設課程研修専門委員会 1回(1月21日)
- ・児童施設課程研修専門委員会 1回(1月31日)
- ・成人施設課程研修専門委員会 1回(1月22日)
- ・障がい児者施設課程研修専門委員会 1回(1月22日)
- ・地域福祉専門研修委員会 1回(2月17日)

#### (3) 福祉と人権の研修ネットワークおおさか運営委員会 1回(3月14日)

#### (4) その他の会議

- ・民生委員児童委員研修企画会議 2回(6月28日、2月25日)

- ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程講師団会議  
1回（2月27日）
  - ・介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修委員会  
3回  
（4月9日、11月26日、1月21日）
- (5) 研修運営アンケートの実施 2回（12、1月実施）

## 2 主な研修の内容

### < 1. 新しい福祉の動向に対応した研修の企画・実施 >

- 「ソーシャルインクルージョン研修」では、阪南市社協と交野市社協が少年院在院者と地域の住民や関係機関と連携して支援を行っていることについての報告を行い、先駆的な取り組みについて学ぶ機会となった。阪南市社協の取り組みは日本地域福祉学会「第21回地域福祉優秀実践賞」を受賞され、その報告の場ともなった。
- 「ハンセン病問題から学び、考える人権研修」は、邑久光明園（岡山）と大阪の研修会場をZOOMでつなぎ、ハンセン病の歴史と現状について学ぶとともに、園の見学・紹介をライブで行い、理解を深める機会となった。
- 昨年度より新たに「人権感覚を豊かにするための研修」を開発し、3つのテーマにて開催した。特に一般職員対象の研修は、戦争によりウクライナから避難されている方が、ウクライナの文化等を日本に紹介する活動についてインタビュー形式でのオンデマンド研修として実施した。
- 離職防止・定着促進に資する取り組みとして、新任及び中堅のキャリアパス研修修了者等を対象に、「意見交換会」を実施し、研修後の振り返りや日々の実践にどのように役立っているか、研修時のグループメンバー以外との交流、情報交換の機会を設けた。開催時期・方法等の課題があるが、日々の悩みや他施設との情報交換の時間、交流の場の重要性を改めて認識できた。

### < 2. 地域福祉を推進する人材養成研修 >

- 「地域福祉のコーディネータースキルアップ研修専門研修」のカリキュラム改編を昨年度より行い、研修を4本に増やしている。①テーマ別「居住支援に対する理解と地域福祉コーディネーターができる支援とは」、②事例検討「福祉施設と多様な主体との協働のあり方について」、③事例研究「個別支援と地域支援の展開」、④学び合い「住民の声を形にする事業提案の動き方」をテーマに、実践力の向上に資する研修として充実化を図った。
- 民生委員児童委員向けの研修では、集合形式で「フォローアップ研修」「中堅研修」「地区委員長研修」「会長・副会長研修」を行い、府外からの講師を多く招き、グループディスカッションにおいて悩みを共有し、互いに活動のヒントを得るなど、研修効果が高かったことが伺えた。

### ＜3. 社会福祉施設役職員等の経営力ならびに専門性を高める人材養成研修＞

○施設長・管理者向けの研修として、「職員の離職防止と指導の両立を考える研修」をオンラインで開催し、職員の離職防止を図るための適切な指導の在り方等のポイントを、講義とグループワークを交えてともに考え、受講者の高い評価を得た。また、オンデマンド研修として「職員の離職防止研修」を実施しオンライン研修に参加できない方にも研修の場を提供できた。

○虐待の事例が大阪でも起こるなか、虐待防止についての内容の「障がい児者・救護施設課程テーマ別Ⅰ」を開催、食中毒や感染症の流行の報道もされるなか「感染症・食中毒予防対策講習会」を2回開催し、それぞれ3,000名前後の多数の方に受講いただいた。

### ＜4. 福祉専門職の養成、福祉専門資格の取得支援研修の実施＞

○「たんの吸引等実施のための研修（不特定多数の者対象）」は、感染対策や流行状況を考慮して研修運営し、全日程を終了することができた。また、今年度も「児童福祉施設で生活する子どもたちを『理解する講座』と『施設での実習』」（学生講座）を10月から1月の期間で実施し、将来、児童福祉施設等で活躍していただける人材の育成・確保に資することができたが、参加者数が例年より減少したため来年度参加者増のための取り組みを行っていく必要がある。

### ＜5. 研修情報などの収集・提供＞

○委託・補助の研修については、大阪府との協議のもと、日々の研修を通じて得られる受講者アンケート、年1回の研修運営アンケート研修の目的・内容に応じた効果的な研修運営とより現場の職員の声に寄り添った内容の充実に取り組んでいく。今年度は研修運営アンケートの回答率を引き上げるべく、12月と1月に2回アンケートを実施し回答率を例年より引き上げることができた。多くの寄せられた内容を基に来年度の研修企画に反映していきたい。

## 令和6(2024)年度研修実績

(1)大阪府委託研修（新たな制度への対応及び周知、社会的要請による共通テーマ、施策目標の実現）

### ①施設職員研修

研修種別	研修名	R6実績	令和6(2024)年度実績				令和5(2023)年度実績				令和4(2022)年度実績			
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数
問題別 専門研修	認知症対応型サービス事業 開設者研修	3,500	1	2	①25 ②25	①9 ②5	1	2	①25 ②25	①13 ②9	1	2	①25 ②15	①8 ②3
	認知症対応型サービス事業 管理者研修	3,500	2	2	①60 ②60	①92 ②72	2	2	①60 ②60	①108 ②111	2	2	①50 ②50	①116 ②60
	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	3,500	2	2	①25 ②25	①30 ②28	2	2	①25 ②25	①40 ②30	2	2	①30 ②24	①47 ②38
指定職種 担当研修 (社会的要 請による共 通テーマ)	リスクマネジメントに関する研修	3,000	1	3	60	114	1	3	60	126	1	3	40	111
施設種別 横断研修 (社会的要 請により共 通テーマ)	福祉・共生のまちづくり (ソーシャルインクルージョン)研修	1,000	1	1	40	27	1	1	90	70	1	1	60	70
	地域協働のための研修	3,000	1	1	50	15	1	1	50	21	1	1	50	14
問題別 専門研修 (社会的要 請テーマに よる共通 テーマ)	個人情報保護研修(基礎、応用)	3,000	1	3	基礎 90 応用 各50	122	1	3	基礎 90 応用 各50	104	1	3	基礎 60 応用 各40	78
問題別 専門研修 (危機管理)	食中毒・感染症予防対策講習会	無料	-	1	-	3,395	-	1	-	3,115	-	1	-	836
		無料	-	1	-	3,233	-	1	-	2,078	1	2	200	①153 ②188
職場研修 支援研修	福祉職員研修(新任職員) ～キャリアパス対応生涯研修課程～	8,000	3	2	①30 ②30	197	3	2	①36 ②36	185	3	2	①36 ②36	213
	福祉職員研修(中堅職員) ～キャリアパス対応生涯研修課程～ ※1回目・2回目集合開催	8,000	3	2	①30 ②30	193	3	2	①30 ②36	191	3	2	①36 ②30	210
	福祉職員研修(チームリーダー) ～キャリアパス対応生涯研修課程～ ※集合開催	8,000	3	2	①30 ②30	178	3	2	①30 ②36	138	3	2	①36 ②30	184
	福祉職員研修(施設長等運営管理職員) ～キャリアパス対応生涯研修課程～	6,000	2	1	30	59	2	1	30	64	2	1	30	47
	福祉職員研修(OJTリーダー養成) ※集合開催	8,000	3	2	①36 ②36	210	3	2	①36 ②36	200	3	2	①36 ②36	192
問題別 専門研修	児童福祉施設基幹的職員研修	無料	3	1	50	152	/	/	/	/	3	1	50	148
開発的研修	児童福祉施設で生活する子ども たちを理解するための講座と実習	無料	9	1	40	119	9	1	40	173	9	1	40	221
人権研修	さまざまな人権問題に関する研修 会	1,000	1	1	50	37	1	1	70	23	1	1	70	35

②民生委員・児童委員研修

研修種別	研修名	R6実績	令和6年度実績				令和5年度実績				令和4年度実績					
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数		
民生委員 研修	新任	無料	-	2	-	①72 ②106	-	1	-	366	-	2	-	①71 ②1,928		
	中堅	無料	1	2	100	113	1	2	100	144	1	2	75	74		
	地区委員長(1期目(3年目まで) の地区委員長)	無料	1	1	100	58	1	1	100	62	-	1	-	313		
	会長・副会長	無料	1	1	-	107	1	1	-	94	-	1	-	184		
	副会長(時事) 【会長研修と合同開催に変更】															
	リーダー(2期目以上の地区委員 長) ※オンデマンド(動画視聴)型	無料	-	1	-	168	-	1	-	191						
	主任児童委員 ※オンデマンド(動画視聴)型	無料	-	1	-	436	-	1	-	421	-	1	-	548		
	フォローアップ研修 (令和4年度より新規)	無料	1	2	100	190	1	2	100	218	1	2	150	182		
	会長															
						9,328					8,295					6,272

委託研修

1. ① 認知症対応型サービス事業開設者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	認知症対応型サービス事業開設者研修	指定小規模多機能型居宅介護事業者の代表者・指定認知症対応型共同生活介護事業所の代表者	9	WEB+現地研修 ZOOM: 10月9日 現場体験: 10月10日~10月25日	地域密着型サービスの基準	小間 浩貴	池田市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
					認知症高齢者の理解とケアのあり方	森本 一成	大阪精神医学研究所 新阿武山病院 大阪府認知症疾患医療センター 認知症サポート医
					家族の理解・高齢者との関係の理解	川本 修次	株式会社貴陽 きぼうの輪 代表取締役
			5	WEB+現地研修 ZOOM: 2月26日 現場体験: 2月27日~ 3月11日	地域密着型サービスの基準	小間 浩貴	池田市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
					認知症高齢者の理解とケアのあり方	森本 一成	大阪精神医学研究所 新阿武山病院 大阪府認知症疾患医療センター 認知症サポート医
					家族の理解・高齢者との関係の理解	川本 修次	株式会社貴陽 きぼうの輪 代表取締役

1. ② 認知症対応型サービス事業管理者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	認知症対応型サービス事業管理者研修	指定小規模多機能型居宅介護事業者の管理者又は管理者になることが予定されている者 ※実践者研修を修了していること	46	ZOOM: 10月9日	地域密着型サービスの基準	小間 浩貴	池田市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
			46	ZOOM: 10月15日	介護従事者に対する労務管理	本田 直子	本田社会保険労務士事務所 社会保険労務士
					適切なサービス提供のあり方	福森 潔	八尾地域密着型高齢者施設 楽寿 管理者
			36	ZOOM: 2月26日	地域密着型サービスの基準	小間 浩貴	池田市
					地域密着型サービスの取り組み	山田 健一郎 則包 正人	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長 特定非営利活動法人あそびりクラブ 代表理事
			36	ZOOM: 3月4日	介護従事者に対する労務管理	本田 直子	本田社会保険労務士事務所 社会保険労務士
					適切なサービス提供のあり方	福森 潔	八尾地域密着型高齢者施設 楽寿 管理者

1. ③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業者の計画作成又は計画作成担当者になることが予定され、実践者研修を修了している者	15	ZOOM: 10月28日	ケアマネジメント論	山田 健一郎	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長
					チームケア (記録・カンファレンス・アセスメント・プラン)		
					総論・小規模多機能ケアの視点	竹村 享	社会福祉法人聖徳会 小規模多機能型居宅介護 リアンまつばら 管理者
					地域生活支援		
			15	ZOOM: 10月31日	居宅介護支援計画作成の実際	石川 立美子	介護共育研究会 代表
					居宅介護支援計画作成の実際 <演習>		
			14	ZOOM: 3月7日	ケアマネジメント論	山田 健一郎	社会福祉法人慶徳会 理事長 静華苑グループ 施設長
					チームケア (記録・カンファレンス・アセスメント・プラン)		
					総論・小規模多機能ケアの視点	竹村 享	社会福祉法人聖徳会 小規模多機能型居宅介護 リアンまつばら 管理者
					地域生活支援		
			14	ZOOM: 3月11日	居宅介護支援計画作成の実際	石川 立美子	介護共育研究会 代表
					居宅介護支援計画作成の実際 <演習>		

2. リスクマネジメントに関する研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属		
指定職種担当研修	リスクマネジメントに関する研修	社会福祉施設一般職員および主任および管理職員	45	〈高齢分野〉 10月21日 大阪府社会福祉会館	講義Ⅰ 「福祉施設サービスの質の向上とリスクマネジメントの取り組み」 事故防止とリスクマネジメント／虐待防止とリスクマネジメント	3日共通: 久岡 英樹	久岡法律事務所 弁護士		
				〈保育・児童分野〉 10月23日 大阪府社会福祉会館				田中 浩士	社会福祉法人堺福祉会 ハートピア堺
				〈障がい分野〉 10月31日 大阪府社会福祉会館				演習 「グループワーク・事例をもとに対応策を考える」  神谷 学	社会福祉法人親和会 末広認定こども園  社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 支援センターあまみ・ピカイチ

3. ソーシャルインクルージョン研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別 横断研修	ソーシャルインクルージョン研修	市町村社協役員、社会福祉施設役員	27	9月10日 大阪府社会福祉会館	【講義】 地域共生社会の実現に向けて	小野 達也	桃山学院大学 教授
					【報告と質疑応答】 「少年院在院者のボランティア 泉南学寮グリーンサポーター」	坂上 尚大 熊抱 潤	社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会 総務グループ 主任 地域福祉グループ 主任
					「かたのセタプロジェクト～世代を越えて心がつながる願いごと～」	各務 正敏	交野市社会福祉協議会 課長

4. 地域協働のための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別 横断研修	地域協働のための研修	社会福祉施設長・職員、社会福祉協議会役員	15	11月21日 大阪府社会福祉会館	【講義・演習】 福祉施設と学生の協働的实践 ～その可能性をともに考え・ 創出する～	上野山 裕士	摂南大学 講師

5. 個人情報保護研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別 専門研修	個人情報保護（基礎編）研修会	社会福祉施設の個人情報保護担当役員、テーマに興味のある役職員	66	11月20日 オンライン (Zoom)	【講義・グループワーク】 個人情報の基本	岩佐 嘉彦	いぶき法律事務所 弁護士
	個人情報保護研修会（応用編）	社会福祉施設の個人情報保護担当役員、テーマに興味のある高齢者・障がい者施設で勤務する役職員	33	12月11日 オンライン (Zoom)	【応用① 講義・グループワーク】 Q&Aと実践報告から学ぶ	岡崎 倫子	きずな大阪法律事務所 弁護士
					(実践報告) 個人情報に対する具体的な取り組み	種本 浩司	社会福祉法人 聖ヨハネ学園
		社会福祉施設の個人情報保護担当役員、テーマに興味のある保育施設で勤務する役職員	23	12月20日 オンライン (Zoom)	【応用② 講義・グループワーク】 裁判事例から学ぶ	西村 英一郎	きずな大阪法律事務所 弁護士

6. 感染症予防対策講習会

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修（危機管理）	感染症・食中毒予防対策講習会	法人運営の事業所の管理者、栄養士、調理師、保健師、看護師等	3,395 (449施設)	6月3日～7月31日 (動画視聴型)	食中毒の正しい知識と衛生管理について学ぶ	森田 美咲 出口 剛 竹谷 朋子	大阪府 健康医療部 生活衛生室 食の安全推進課 監視指導グループ
					(実践報告) 食中毒予防対策で実践していること	小濱 由紀	社会福祉法人 慶徳会 児童養護施設 子どもの家 統括栄養士
			3,233 (334施設)	11月11日～1月10日 (動画視聴型)	感染症の特性と予防対策の工夫を学ぶ	水谷 哲 寺地 つね子	社会医療法人 大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院 感染管理センター 感染症専門医 社会医療法人 大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院 感染管理センター 感染管理認定看護師

7. 福祉職員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員キャリア研修「新任職員」対応生涯研修課程	福祉職に従事して職務経験2年以下の社会福祉施設職員	35	5月13日 大阪社会福祉指導センター	・福祉職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメント ・福祉サービスの基本理念・フォローアップの醸成 ・接遇マナーと「報・連・相」の理解	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
				5月22日 大阪社会福祉指導センター	・人権の視点から福祉を考える	古川 隆司	追手門学院大学 社会学部社会学科 教授
			34	5月29日 大阪社会福祉指導センター	・組織運営管理の基礎を知る ・チームアプローチと多職種連携	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
					・福祉職員としての能力開発 ・業務課題の解決と実践研究 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
			31	9月2日 大阪府社会福祉会館	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解 ・組織の一員としてのフォローアップの醸成 ・接遇マナーと「報・連・相」の理解	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
					・人権の視点から福祉を考える	古川 隆司	追手門学院大学 社会学部社会学科 教授
			31	9月9日 大阪社会福祉指導センター	・組織運営管理の基礎を知る ・チームアプローチと多職種連携	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表
					・福祉職員としての能力開発 ・業務課題の解決と実践研究 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	岩井 美詠子	ダブルアイズ 代表

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 〔中堅職員編〕	福祉職に 従事する 職務経験 3年以上 の社会福 祉施設職 員(主任・ 係長等 の役職に ない職員)	30	6月7日 大阪社会福祉 指導センター	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎理解 ・組織の一員としてのフォローアップの醸成 ・チームケアと問題解決ーインデントプロセス	前川 敦	一般社団法人ふせ支援ネットワーク ふせまちかど相談所 代表
			30	6月14日 大阪社会福祉 指導センター	福祉サービスにおける人権を考える	栗本 敦子	Facilitator'sLABO えふらぼ
					・中堅職員としての能力開発と後輩職員の指導 ・現在起きている問題を解決し、後輩職員をリードして取り組む ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携協働 ・コンピテンシーの開発 ・組織運営管理の理解促進と参画	前川 敦	一般社団法人ふせ支援ネットワーク ふせまちかど相談所 代表
			30	6月18日 大阪社会福祉 指導センター	・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定		
			35	10月8日 大阪社会福祉 指導センター	・福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ・福祉サービスの基本理念・倫理の基礎理解 ・組織の一員としてのフォローアップの醸成 ・チームケアと問題解決ー遭遇要因分析	福井 梨恵	五領・上牧地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
			33	10月18日 大阪社会福祉 指導センター	福祉サービスにおける人権の視点を考える	栗本 敦子	Facilitator'sLABO えふらぼ
					・中堅職員としての能力開発 ・業務課題の解決と実践研究の実行 ・利用者の尊厳を守る福祉サービスとリスクマネジメント ・他組織や地域の専門職との連携協働	福井 梨恵	五領・上牧地域包括支援センター 認知症地域支援推進員
			35	10月22日 大阪社会福祉 指導センター	・OJTとして後輩職員への指導方法 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定		

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員研修「チームリーダー」 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー編	社会福祉施設で主任、係長、事務長等指導的立場にある職員	29	7月2日 大阪社会福祉指導センター	福祉サービスにおける人権の視点を考える～虐待の予防について～	北野 真由美	えんばわめんと堺 代表理事
				7月9日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修オリエンテーションと導入講義</li> <li>・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理</li> <li>・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する</li> <li>・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成</li> </ul>	濱崎 格	あゆたま(歩素和魂)コンサルタント
			30	7月23日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動指針の策定</li> <li>・キャリアデザインとアクションプランの策定</li> <li>・目標のたて方</li> </ul>		
				7月9日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決手法(リフレクションゲーム)</li> <li>・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進</li> <li>・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ</li> <li>・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント</li> <li>・チームアプローチと多職種連携・地域連携の推進</li> <li>・組織運営管理への参画と協働</li> </ul>	濱崎 格	あゆたま(歩素和魂)コンサルタント
			30	11月14日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修オリエンテーションと導入講義</li> <li>・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理</li> <li>・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する</li> <li>・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成</li> </ul>		
				11月21日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決手法(リフレクションゲーム)</li> <li>・チームリーダーとしての能力開発とOJTの推進</li> <li>・チームで問題解決に取り組み、その先頭に立つ</li> <li>・サービスの質の確保・向上とリスクマネジメント</li> <li>・チームアプローチと多職種連携・地域連携の推進</li> <li>・組織運営管理への参画と協働</li> </ul>	濱崎 格	あゆたま(歩素和魂)コンサルタント
			29	11月28日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動指針の策定</li> <li>・キャリアデザインとアクションプランの策定</li> <li>・目標のたて方</li> </ul>		
				11月21日 大阪社会福祉指導センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修オリエンテーションと導入講義</li> <li>・チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理</li> <li>・福祉サービスの基本理念・倫理を推進する</li> <li>・チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成</li> </ul>	北野 真由美	えんばわめんと堺 代表理事

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【施設長等運営管理職員の研修】	社会福祉施設の施設長、副施設長、事務長等運営管理職員	30	7月30日 大阪社会福祉指導センター	・キャリアデザインとセルフマネジメント ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・リーダーシップの醸成 ・地域共生社会や多様な自立、プロデュース力等	新崎 国広	ふくしと教育の実践研究所SOLA 主宰
			29	8月1日 大阪社会福祉指導センター	・能力開発と人材育成 ・業務課題解決 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携、地域協働 ・組織運営管理 ・行動指針の策定 ・キャリアデザインとアクションプランの策定	津田 耕一	関西福祉科学大学 学長
	福祉職員研修【OJTリーダー養成】	社会福祉施設の主任、リーダークラスの職員、研修担当の職員	36	①5月9日 ②5月10日 ③5月31日 大阪府社会福祉会館	職員間の人権を重視した人間関係づくり	金香百合	堺市立男女共同参画センター館長
					・人材定着と確保のためのOJT戦略について ・OJT推進の基本(教える) ・コーチングの基本(自律職員を育む関わり) ・人財育成の視点 ・3日目までの課題 ・課題実践報告会、ケーススタディ、ロールプレイ等	増田 知乃	有限会社 レイズ 人財育成コンサルタント
			34	①1月9日 ②1月10日 ③1月30日 大阪府社会福祉会館	職員間の人権を重視した人間関係づくり	金香百合	堺市立男女共同参画センター館長
					・人材定着と確保のためのOJT戦略について ・OJT推進の基本(教える) ・コーチングの基本(自律職員を育む関わり) ・人財育成の視点 ・3日目までの課題 ・課題実践報告会、ケーススタディ、ロールプレイ等	増田 知乃	有限会社 レイズ 人財育成コンサルタント

8. 児童福祉施設基幹的職員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	児童福祉施設等における直接支援や相談支援などの業務経験が概ね7年以上で施設長が推薦した職員	児童福祉施設等における直接支援や相談支援などの業務経験が概ね7年以上で施設長が推薦した職員	51	10月2日 大江ビル	[A]子どもの権利擁護と日々の養育 ・日々の生活の中での権利擁護 ・児童福祉施設の現状と求められる養育	宇城 輝美 北川 公平 武田 曜	あんだんて 主任 公德学園 リーダー 助松寮 主任
					[B]子どもの発達について ・年齢や施設の形態による、発達の特徴や対応について ・子どもの発達に関する課題の理解 ・意見交換	安城 一郎	向陽学園 施設長
					[B]子どものアセスメントについて ・アセスメントに必要な視点と日々の関わり ・子どもの状態や年齢に応じたアセスメント	畠中 大輔 河野 光裕	公德学園 主任 博愛社 施設長
			50	10月28日 大江ビル	[E]子どもの精神的・行動的な問題の理解と対応 ・脅威に対する反応や自律神経とは ・問題行動の捉え方について	島 ゆみ 大久保 正彦 小川 健二郎 植嶋 直樹	大阪府中央子ども家庭センター課長 東光学園 施設長 大阪西本願寺常照園 施設長 助松寮 副施設長
					[G]子どもの性に関する問題への理解とその対応 ・性問題の基本的理解 ・性に関する問題における職員の関わり	山野 泰弘 奥野 大輔 金井 政二 福鹿 太一	希望の杜 施設長 公德学園 総括主任 羽曳野荘 主任指導員 生駒学園 児童指導員
					[C]家族支援とソーシャルワーク ・家族再統合に向けた家族支援の理解 ・家族への介入と事例を通じたジェノグラムの活用	橋本 江玲奈 山田 優 道副 由真子 巽 友朗	児童心理治療施設ひびき 統括主任 聖家族の家 副施設長 聖ヨハネ学園 主任 四恩学園 施設長
			51	11月25日 大江ビル	[H]子どもの育ちをつなぐ支援 ・子どもの育ちをつなぐ意義と必要性について ・日々の生活支援とライフストーリーワークについて ・関係機関との連携について	竹内 務 丸岡 かおり 佃 直 坪本 隆氏	若江学院 施設長 弘済のぞみ園 施設長 愛育社 主任指導員 南河学園 主任指導員
					[F]施設の小規模化と家庭的養護の推進について ・家庭的養護の現状と課題 ・小規模ケアにおける日々の養育 ・本体とユニット間の連携とリーダーの役割	舟木 康二 増永 志穂子 前田 陽介	子どもの家 施設長 いずみこどもの家 施設長 田島童園 施設長
					[D]児童福祉施設におけるスーパービジョンとチームアプローチについて ・児童福祉施設におけるスーパービジョンの意義とその機能 ・チームアプローチの理解と実践紹介 他の専門職との協働と情報共有の大切さ	城村 威男 牧田 雄二	入舟寮 施設長 聖家族の家 施設長
					総まとめ ・演習、意見交換 ・3日間の研修を通して学んだことの振り返り		

9. 児童福祉施設で生活する子どもたちを理解するための講座と実習

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
開発的 研修	子どもたちを理解するための講座と実習 児童福祉施設で生活する	児童福祉分野への就職を考える大学・短期大学・保育士養成校の学生および社会人等	18	10月4日	社会的養護の理解・施設種別ごとの理解	中條 薫	児童養護施設 羽曳野荘 施設長
			16	10月11日	子どもの権利擁護・対象者の尊厳の遵守・職業倫理	山野 泰弘	希望の社 施設長
			17	11月1日	家族への支援・地域との連携	栗延 雅彦	和泉乳児院 施設長
			13	11月15日	社会的養護を必要とする子どもの理解・施設職員の役割	岡出 多申	高鷲学園 施設長
			15	11月22日	社会的養護を必要とする子どもの日常生活における支援の理解と子どもたちの課題への具体的な対応	横山 素直	清心寮 副施設長
			16	11月29日	里親制度の現状と課題 子どもの自立支援(アフターケア)	川本 陽子 大森 啓代	子どもの家 里親支援専門相談員 子どもの家 主任
			12	11月30日～ 1月21日	施設体験実習(原則2日間)	12施設	児童養護施設:10施設 乳児院:1施設 障がい児施設:1施設 児童心理治療施設:0施設
			11	1月24日	実習後のフォローアップ研修 および講座・実習をふり返っての情報交換	大久保 正彦 井上 貴博 大野 智耶 照井 道良 和田 崇志	児童養護施設 東光学園 施設長 (ファシリテーター) 翼 遙学園 花園精舎 あゆみの丘

※施設実習(11/30～1/21)を除いて、会場は全て大阪社会福祉指導センター

10. さまざまな人権問題に関する研修会

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
人権 研修	さまざまな人権問題に関する研修会	社会福祉施設に勤務する職員	37	12月18日 大阪府社会福祉会館	矯正施設を退所した福祉課題を抱える人への支援	當 洋彰 三分一 直瑠	一般社団法人よりそいネットおおさか 大阪府地域生活定着支援センター

11. 民生委員児童委員・主任児童委員研修会

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属	
民生委員研修	新任民生委員児童委員および主任児童委員研修会	令和6年2月1日以降に委嘱された新任の民生委員児童委員および主任児童委員ただし、前回参加できなかった人も含む	72	6月7日 クレオ大阪中央	民生委員児童委員の活動について	山崎 譲	大阪府民生委員児童委員協議会連合会 副会長	
					地域福祉入門	小野 達也	桃山学院大学 教授	
					民生委員児童委員と人権	柴原 浩嗣	一般財団法人 大阪府人権協会 業務執行理事	
					面接相談技法	田村 満子	たむらソーシャルネット 代表	
				6月10日～7月31日 (動画視聴型)	民生委員児童委員の歴史と役割	藤原 慶二	関西福祉大学 教授	
					生活福祉資金貸付制度について	石井 慎太郎	大阪府社会福協議会 生活支援部	
					個人情報の取り扱いについて	川上 確	筒井・川上法律事務所 弁護士	
					児童虐待の現状と課題	伊藤 嘉余子	大阪公立大学 教授	
			106	令和6年6月1日以降に委嘱された新任の民生委員児童委員および主任児童委員ただし、前回参加できなかった人も含む	8月1日～2月14日 (動画視聴型)	民生委員児童委員の活動について	川西 利則	大阪府民生委員児童委員協議会連合会 副会長
						地域福祉入門	小野 達也	桃山学院大学 教授
						民生委員児童委員と人権	柴原 浩嗣	一般財団法人 大阪府人権協会 業務執行理事
						面接相談技法	田村 満子	たむらソーシャルネット 代表
						民生委員児童委員の歴史と役割	藤原 慶二	関西福祉大学 教授
						生活福祉資金貸付制度について	石井 慎太郎	大阪府社会福協議会 生活支援部
	68 45	中堅民生委員児童委員研修会 2期目を終了された民生委員児童委員	10月3日 大阪府社会福 社会館401	【講義 / 演習】 「認知症高齢者のくらしの『あるある』から地域 における民生委員・児童委員の役割を考える」	薄木 公平	うすき行政書士事務所 行政書士・社会福祉士		
							10月11日 大阪府社会福 社会館401	

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
民生委員研修	地区民生委員児童委員長研修会	1期目(3年目まで)の地区委員長	58	11月29日 大阪府社会福祉会館	【講義/グループワーク】 ヤングケアラーへの支援について、民生委員児童委員としてできることを考える  【講義/グループワーク】 これからの民児協活動とリーダーの役割	植松 康恵 松藤 和生	大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課  民生委員活動研究者・KT福祉研究所代表
	リーダー研修会	2期目以上の地区委員長	168	10月23日～12月11日 (動画視聴型)	【講義】 心に響くコミュニケーション～安心と信頼を育む技術～	福嶋 潤一	株式会社ツクイスタッフ 教育事業部課長
	会長・副会長研修会	会長・副会長	107	12月17日 大阪府社会福祉会館	【講義/グループワーク】 なるほど！ザ・担い手不足解消！～会長・副会長の役割を学び、各市町村の取り組みや課題を語りあきましょう～	新崎 国広	ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰
	主任児童委員研修会	主任児童委員	227	1月9日～2月28日 (動画視聴型)	【講義】 児童福祉施設出身児の自立支援活動の現場から～アフターケア事業部の活動事例～	藤川 澄代	社会福祉法人 大阪児童福祉事業協会 常務理事 アフターケア事業部 部長
	民生委員児童委員フォローアップ研修	1～2期目中の新任の民生委員児童委員および主任児童委員	107	10月28日 大阪府社会福祉会館	【講義】 民生委員・児童委員に期待される役割・意義について  【実践報告とグループワーク】 先輩から聞く民生委員活動と個別支援について	中尾 竜二  山崎 重彦 真砂 裕充	川崎医療福祉大学 准教授  豊中市民生・児童委員協議会 会長 和泉市民生委員児童委員協議会 会長
			83	11月11日 大阪府社会福祉会館	【講義】 民生委員・児童委員に期待される役割・意義について  【実践報告とグループワーク】 先輩から聞く民生委員活動と個別支援について	中尾 竜二  森田 晴夫 吉岡 賀子	川崎医療福祉大学 准教授  交野市民生委員児童委員協議会 副会長 河南町民生委員児童委員協議会 会長

(2)大阪府補助研修（職務に関する基本的・専門的知識の習得、施設種別・階層別の各課題への対応）

研修種別	研修名	R6実績	令和6(2024)年度実績				令和5(2023)年度実績				令和4(2022)年度実績					
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数		
管理者研修	社会福祉施設長研修	①0 ②3,000	1	2	①- ②50	①163 ②51	1	2	①- ②50	①146 ②41	1	2	50	①122 ②28		
指定職種 担当研修	スーパーバイザー養成基礎研修	7,000	1	2	各50	93	1	2	各50	80	1	2	各50	90		
	障がい児者施設専門ゼミナール	12,000	4	1	24	54	4	1	24	42	3	1	24	36		
	スーパービジョン実践者養成 ゼミナール	20,000	4	1	30	72	4	1	30	95	4	1	30	109		
	保健師・看護師研修	3,000	1	2	各80	83	1	2	各80	124	1	2	各80	142		
施設種別 階層別研修	老人施設課程(基礎コース)	5,000	1	1	36	21	1	1	36	13	1	1	36	20		
	老人施設課程(応用コース)	5,000	1	1	36	44	1	1	36	34	1	1	40	17		
	老人施設課程(テーマ別コース)	①8,000 ②3,000	1	2	①- ②30	①839 ②25	1	2	①- ②40	①160 ②14	1	2	①40 ②30	①15 ②39		
	障がい児者・救護施設課程 (基礎コースⅠ/通所)	8,000	2	1	30	59	2	1	30	49	2	1	30	28		
	障がい児者・救護施設課程 (基礎コースⅠ/入所)	8,000	2	1	30	46	2	1	30	62	2	1	30	20		
	障がい児者・救護施設課程 (基礎コースⅡ)	5,000	1	1	40	22	1	1	40	22	1	1	40	9		
	障がい児者・救護施設課程 (応用コース)	5,000	1	1	40	31	1	1	40	32	1	1	40	10		
	障がい児者・救護施設課程 (テーマ別Ⅰ 第1回)	8,000	1	1	-	2,791	1	1	-	1,517	1	1	30	19		
	障がい児者・救護施設課程 (テーマ別Ⅰ 第2回)	8,000	1	1	-	450	1	1	-	428	1	1	30	17		
	障がい児者・救護施設課程 (テーマ別Ⅱ)	3,000	1	1	30	30	1	1	30	7	1	1	30	19		
	児童施設課程(基礎コースⅠ)	10,000	3	1	30	107	3	1	30	92	3	1	30	82		
	児童施設課程(基礎コースⅡ)	5,000	1	1	30	29	1	1	30	26	1	1	30	25		
	児童施設課程(応用コース)	5,000	1	1	24	18	1	1	24	30	1	1	24	18		
問題別 専門研修	面接相談援助技術基礎講座	5,000	1	1	60	62	1	1	60	75	1	1	60	63		
	社会福祉法人監事研修	3,000	1	1	60	26	1	1	60	29	1	1	60	35		
	苦情解決第三者委員研修	3,000	1	1	60	32	1	1	60	47	1	1	60	44		
	メンタルヘルス研修 (一般職クラス)	4,000	1	1	35	23	1	1	35	21	1	1	35	20		
	メンタルヘルス研修 (主任・管理職クラス)	6,000	1	1	35	45	1	1	35	53	1	1	35	27		
	メンタルヘルス研修(テーマ別)	5,000	1	1	36	36	1	1	40	37	1	1	50	20		
	対人援助専門職講座	10,000	3	1	50	149	3	1	50	126	3	1	50	155		
労働セミナー	4,000	1	2	60	81	1	2	60	119	1	2	60	166			
人権研修	施設階層別における人権研修	無料	1	5	-	393	1	5	-	309	1	5	-	250		
	SVクラスにおける人権研修	無料	1	2	-	32	1	2	-	44	1	2	-	50		
						5907					3874					1713

## 補助研修

### 1. 社会福祉施設長研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
管理者研修	社会福祉施設長研修	社会福祉施設施設長	163	6月12日 シティプラザ大阪	～元・マクドナルド・ユニクロの教育トップが伝授する～人が育つしくみ	有本 均	株式会社ホスピタリティ&グローイング・ジャパン 代表取締役会長
		社会福祉施設施設長	51	1月16日 オンライン (Zoom)	職員の離職防止と指導の両立を考える研修	福嶋 潤一	(株)ツクイスタッフ 教育研修部 課長

### 2. スーパーバイザー養成基礎研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	スーパーバイザー養成基礎研修	これからスーパーバイザーの役割を果たしていく立場にある職員	60	6月13日 大阪府社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が大切にされる職場環境</li> <li>・SVと相互の実践力の向上</li> <li>・チームケア、チームワークを考える</li> <li>・フレンドシップとメンバーシップ</li> <li>・職員間のコミュニケーション</li> <li>・リーダーシップを考える</li> <li>・人が一つの職業に出会うことには意味がある</li> <li>・SVを考える(3つの機能等)</li> <li>・ケース会議や事例検討会等</li> </ul>	空閑 浩人	同志社大学 教授
			33	6月27日 大阪府社会福祉会館			

### 3. 障がい児者施設専門セミナー

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	障がい児者施設専門セミナー	障がい児者施設に勤務する3年以上経験をもつサービス管理責任者であり、指導的立場にある方	14	9月2日 大阪社会福祉指導センター	「事例を通してアセスメントを検証する」(講義・演習)	小口 将典	関西福祉科学大学 准教授
			14	10月7日 大阪社会福祉指導センター	「利用者の権利擁護(意思決定支援・身体拘束・虐待防止)への対応を含めた支援の設計」(講義・演習)		
			12	11月11日 大阪社会福祉指導センター	「個別支援計画の作成」(講義・演習)		
			14	12月2日 大阪社会福祉指導センター	「利用者主体の支援計画とモニタリングの視点」のポイント(講義・演習)		

4. スーパービジョン実践者養成ゼミナール

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	スーパービジョン実践者養成ゼミナール	社会福祉施設に勤務し、職場においてスーパーバイザーの役割を果たす立場にある者（主任、指導的職員）や、就く予定の者	19	9月13日 大阪社会福祉指導センター	【講義と演習】	小山 隆	同志社大学 教授
			19	10月4日 大阪府社会福祉会館	スーパービジョン実践 対人援助の基本等 ・誰が、援助関係における「主体」か？ ・対人援助にあたって大切にしたいことーソーシャルワークの原則からー		
			18	11月1日 大阪社会福祉指導センター	・援助専門職にとっての専門性とは ・専門職倫理の検討を通して ・スーパービジョンについて		
			16	12月6日 大阪社会福祉指導センター			

5. 保健師・看護師研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	保健師・看護師研修会	社会福祉施設の保健師並びに看護師（主に高齢・障がい）	35	6月13日 オンライン (Zoom)	医師から学ぶ うつ病の正しい理解 ～早期発見・対応と予防～  ・うつ病とは ・高齢者・障がい者のうつ病の特徴 ・共に働く職員のメンタル不調について ・うつ病の方への対応と接し方 ・予防のために 日頃からできること	森本 一成	新阿武山病院 診療部 副部長
		社会福祉施設の保健師並びに看護師（主に保育・児童）	48	7月11日 オンライン (Zoom)	歯磨きだけじゃない！子どもの健口に大切なこと  ・乳幼児期の今だからこそ気をつけておきたいこと ・お口の健康は、カラダの健康から ・「歯並び」「かみ合わせ」からトラブル急増 ・嚥下力 安全な食事のためにできること ・園内で楽しくできる健口体操	森浦 京子 森浦 弘行	森浦歯科医院 副院長 " 院長

6. 老人施設課程

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	(老人施設課程 基礎コース)	高齢者施設に勤務する職員で、概ね3年未満の初任者職員(非常勤職員を含む)	21	6月12日 大阪府社会福祉会館	「介護職員として知っておきたい基礎知識(制度・法律と記録の必要性)」	種橋 征子	関西大学 教授
					・介護保険法の仕組み・流れ ・高齢者虐待防止法 ・認知症基本法 等		
	(老人施設課程 応用コース)	高齢者施設に勤務する職員で、概ね3年以上の職員(非常勤職員を含む)	44	6月20日 大阪府社会福祉会館	「職場内コミュニケーションについて」～介護記録等を通じた職場内コミュニケーションを学ぶ～	宇佐美 亜樹	社会福祉法人聖徳会 大阪老人ホームうえだ 課長
					「大阪府内の高齢者施設等における虐待の現状について」		
	(テーマ別老人施設課程 ①②)	高齢者施設に勤務する職員及び施設長が認めた職員	839 (40事業所)	9月2日～10月21日 (動画視聴型)	テーマ別① 介護技術の基本 ～食事ケア・排泄ケア・認知症ケアのポイント～ ・食事介助のポイント ・利用者の状態に合わせた環境作り(シーティング) ・消化と排泄ケアの仕組み、ケアのポイント	八尾 英人  土井 敏之	特別養護老人ホームあんり 施設長  ケア研究会PAD Lab. 代表 理学療法士
					・利用者の状態に合わせた環境作り(福祉用具の活用) ・認知症ケアの基本とBPSDへの対応 ・認知症の症状がある方への食事・排泄時のケアのポイント		
	高齢者施設に勤務する職員で、ホームページや広報誌等の情報発信の担当者	25	11月20日 どうみょうじ高殿苑	テーマ別② プロに学ぶ 情報発信が楽しくなる実践セミナー	尾関 栄二	株式会社ユナイテッド・トゥモロー 代表取締役	

7. 障がい児者・救護施設課程

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	障がい児者・救護施設課程 基礎Ⅰ（通所コース）	障がい児者・救護施設に勤務して標記研修に関心のある初任者（概ね2年未満／非常勤含む）	30	6月20日 大阪府社会福祉会館	障がい児・者支援の専門性とは何か	津田 耕一	関西福祉科学大学 学長
				29	6月27日 大阪社会福祉指導センター	利用者主体の支援について	山下 史子
			支援者として大切にしたいこと				
			基礎Ⅰ（入所コース）	障がい児者施設に勤務して標記研修に関心のある初任者（概ね2年未満／非常勤含む）	23	6月20日 大阪府社会福祉会館	障がい児・者支援の専門性とは何か
	23	7月1日 大阪社会福祉指導センター				利用者主体の支援について	鍵村 茜音
			支援者として大切にしたいこと	伊名岡 宏	社会福祉法人北摂杉の子会 地域生活支援部 部長		
	（障がい児者・救護施設課程 基礎Ⅱコース）	障がい児者施設に勤務している職員で、基礎Ⅰを受講された方、または概ね5年以下の職員	22	10月28日 大阪社会福祉指導センター	福祉の仕事に誇りを持つ	久保 哲哉	NPO法人だんでらいおん 理事長
					相談支援と地域連携	宮崎 充弘	NPOサポートグループほわほわの会 代表理事
	（応用コース）	障がい児者施設に勤務している職員で、概ね5～10年の主任クラスの現職	31	8月27日 オンライン (Zoom)	【講義・演習指導】 リーダーに求められるもの ・職場環境 ・リーダーシップ ・人を「育てる」ということ ・リーダーが変わればチームが変わる 等	空閑 浩人	同志社大学 教授
					【実践報告・演習】 職員育成と職場づくりにおける リーダーの役割・工夫・視点	樹 宣明 大野 満	社会福祉法人四幸舎和会 障がい者支援施設くりのみ園 サービス管理責任者 社会福祉法人みなと寮 りんくうみなと 主任生活支援員

施設種別階層別研修	障がい児者・救護施設課程 (テーマ別)	障がい児者・救護施設に勤務する職員 または、関心のある職員	2,791 (101施設)	6月25日～8月13日 (動画視聴型)	【テーマ別Ⅰ・第1回】 動画で学ぶ！ 障がい児者施設の虐待防止研修 ～よりよい支援のために～ ①虐待防止法・身体拘束適正化について ②虐待の状況 ③実際の虐待事例 ④虐待防止(身体拘束)の取り組み	森下 由岐	大阪府福祉部障がい福祉室 生活基盤推進課 指定・指導グループ 統括主査
					⑤よりよい支援のためのストレスマネジメント	津村 薫	フェリアン 副所長
		障がい児者・救護施設に勤務する職員 または、関心のある職員	450 (29施設)	1月10日～2月28日 (動画視聴型)	【テーマ別Ⅰ・第2回】 動画で学ぶ！ 障がい児者施設の虐待防止研修 ～よりよい支援のために～ ①虐待防止法・身体拘束適正化について ②虐待の状況 ③実際の虐待事例 ④虐待防止(身体拘束)の取り組み	森下 由岐	大阪府福祉部障がい福祉室 生活基盤推進課 指定・指導グループ 統括主査
					⑤よりよい支援のためのストレスマネジメント	津村 薫	フェリアン 副所長
		障がい児者・救護施設に勤務する職員 または、関心のある職員	30	12月20日 オンライン (Zoom)	【テーマ別Ⅱ】 熱心な職員を虐待者にさせない！施設利用者への虐待が生まれない環境を目指して～施設職員としてできることとは～	吉池 毅志	大阪人間科学大学 准教授

8. 児童施設課程

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属		
施設種別階層別研修	基礎コースⅠ 児童施設課程	新任の児童福祉施設職員 (昨年度採用された職員で本研修を受講していない者)	36	5月16日 大阪社会福祉指導センター	子どもの権利擁護と身につけてほしい基礎知識	農野 寛治	常磐会短期大学 学長		
					児童福祉施設の現状、施設職員として	岡出 多申	児童養護施設 高鷲学園 施設長		
					児童福祉施設における子どもたちの日々の生活と養育について	大久保 正彦	児童養護施設 東光学園 施設長		
					先輩職員が語る 児童福祉施設の仕事・働きがい	福井 伸弥 濱口 京子	児童養護施設 三ヶ山学園 児童養護施設 遙学園		
			36	5月17日 大阪社会福祉指導センター	子ども家庭センターの役割と児童福祉施設との関わり	福井 新太	大阪府中央子ども家庭センター 育成支援第一課 総括主査		
					施設職員・社会人としての心構え	岡本 晴美	広島国際大学 教授		
					児童施設職員としてのこれからを考える	岡本 晴美 福井 伸弥 濱口 京子	広島国際大学 教授 児童養護施設 三ヶ山学園 児童養護施設 遙学園		
			35	2月20日 大阪社会福祉指導センター	この一年の自分や仲間の成長を共有する 自身の施設について振り返る	農野 寛治	常磐会短期大学 学長		
					児童福祉施設職員の知識/支援を確認する	岡本 晴美	広島国際大学 教授		
					先輩職員による経験談・アドバイス 職員としての今後の目標	福井 伸弥 濱口 京子	児童養護施設 三ヶ山学園 児童養護施設 遙学園		
			基礎コースⅡ 児童施設課程	勤務経験3～5年の児童福祉施設職員	29	10月30日 大阪社会福祉指導センター	児童福祉施設職員のキャリアについて考える	石田 賀奈子	立命館大学 教授
							児童福祉施設におけるチーム/組織について～チームの中の私の役割を考える～	藪 一裕	京都文教大学 講師
応用コース 児童施設課程	勤続年数おおむね5年以上(リーダークラス)の児童福祉施設職員	18	12月4日 大阪社会福祉指導センター	社会的養護施設で生活する子どもの課題とリーダーに必要とされる資質を考える	石田 賀奈子	立命館大学 教授			
				感情のコントロールとチーム対応力アップ	井上 泰世	株式会社 ナースハート 代表取締役			

9. 面接相談援助技術基礎講座

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	面接相談援助技術基礎講座	面接相談業務に就いて間もない、またはこれからその業務を担う職員(初任者)	62	6月21日 大阪府社会福祉会館	・コミュニケーションの基礎【講義・演習】 ・聴く実習【演習】 ・援助的コミュニケーションについて【映像視聴・講義】	川島 恵美	関西学院大学 教授

10. 法人監事研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	社会福祉法人監事研修	社会福祉法人の監事及び運営関係者等	26	1月28日 大阪社会福祉指導センター	【講義】 人事・労務等法人の運営管理に関する監事監査のポイントについて～適正な法人運営を目指して～ 【グループワーク】 “やりがいのある職場環境とは？”事例を通して考える	泉谷 功	泉谷社会保険労務士事務所 代表

11. 苦情解決第三者委員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	苦情解決第三者委員研修会	福祉サービス事業者の第三者委員、苦情受付担当者、苦情解決責任者、その他関心のある職員	32	12月3日 大阪府社会福祉会館	【講義】 苦情解決のしくみにおける第三者委員の役割について～利用者のニーズを通して考える～	井元 真澄	梅花女子大学 教授
					【講義・グループワーク】 利用者・子どもたちとその家族への関わりにおいて工夫していること	西田 和人	社会福祉法人 四恩学園 事務局長

12. メンタルヘルス研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	メンタルヘルス研修	一般職 クラス	23	9月19日 オンライン (Zoom)	レジリエンス(精神的回復力)とセルフケア ・精神的回復力 ・アンガーマネジメント ・予防と対処 等  ※主任・管理職クラスと合同開催	林 久子	(株)ビーコンラーニングサービス コンサルタント
		主任・ 管理職 クラス	45	9月19日 オンライン (Zoom)	レジリエンス(精神的回復力)とセルフケア  セルフエスティーム(自己肯定感)とラインケア ・組織としてのメンタルヘルス ・ハラスメントの理解 ・職場の活性化 等 ※一般職クラスと合同開催	林 久子	(株)ビーコンラーニングサービス コンサルタント
		テーマ別	36	10月29日 オンライン大阪 社会福祉指導 センター	自分も相手も大切にするコミュニケーション ～アサーションの考え方から～	今岡 まゆみ	オフィス今岡 代表

13. 対人援助専門職講座

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	対人援助専門職講座	対人援助に携わる職員(新任～中堅)	50	8月2日 大阪府社会福祉会館	～よりよい援助関係を築くために福祉の視点と援助の基本～	小山 隆	同志社大学 教授
			50	8月5日 大阪府社会福祉会館	【講義と演習】 ・社会福祉の視点 ・対人援助にあたって、大切にしたいこと～ソーシャルワークの原則から～ ・コミュニケーションの重要性 ・専門職倫理の検討を通して ・My倫理綱領 ・援助専門職にとっての専門性		
			49	8月26日 大阪府社会福祉会館			

14. 労働セミナー

問題別専門研修	労働セミナー	社会福祉施設長及び管理担当職員	47	7月4日～8月22日 (動画視聴型)	(動画視聴) 「離職防止対策 定着支援のポイント ～労務管理の視点から～」	福西 綾美	株式会社ソフィアステージ 社会保険労務士・国家資格キャリアコンサルタント・産業カウンセラー 大阪社会福祉施設経営相談室 専門相談員
			34	8月6日 オンライン (Zoom)	【講義と演習】 ハラスメント相談窓口担当者の役割と実務		

15. 施設階層別研修における人権研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
人権研修	施設階層別における人権研修	(必須) 老人施設課程(基礎コース)、障がい児者施設課程(通所・入所コース)、児童施設課程(基礎コースI)、児童施設課程(基礎コースII)、成人施設課程(基礎コース)、教育・保育施設課程(初任者コース)の各受講者	64	11月1日～21日 動画視聴型 ※5つのテーマのうち2つのテーマを選択	多様な性のあり方 LGBTQ+～男女やLGBTだけじゃない! 性のあり方は十人十色～	井上 鈴佳	元中学校・高等学校保健室の先生 レズビアン
			76		ひきこもり等の若者に対する理解と支援	藤村 泰王	特定非営利活動法人育て上げネット
			88		自殺防止と人権の視点	北條 達人	認定NPO法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 理事長
			86		「認知のゆがみ」の理解とその支援～”コグトレ”を通じて	宮口 英樹	高知健康科学大学 学長
			79		子ども虐待防止のために	辻 由起子	大阪府子ども虐待防止 アドバイザー

16. スーパーバイザークラスにおける人権研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
人権研修	スーパーバイザークラスにおける人権研修	(必須) スーパービジョン実践者養成ゼミナール、障がい児者施設専門ゼミナールの各受講者	13	2月3日～25日 動画視聴型 ※2つのテーマのうち1つのテーマを選択	ヤングケアラーの現状からこどもの人権について考える	水流添 綾	一般社団法人こもれび 代表理事
			19		自殺防止と人権の視点	北條 達人	認定NPO法人 国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 理事長

(3) 自主研修

研修種別	研修名	R6実績	令和6(2024)年度実績				令和5(2023)年度実績				令和4(2022)年度実績			
		受講料	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数	日数	回数	定員	延人数
資格取得	介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修	65,000	14	1	36	276	14	1	36	239	15	1	36	455
	認知症介護実践研修 実践者研修	31,500	6	2	①72 ②72	①416 ②426	6	2	①72 ②72	①416 ②422	6	2	①54 ②72	①316 ②417
施設種別 階層別研修 (大阪府保育士等キャリアアップ研修を含む)	教育・保育施設課程(初任者クラス)	13,000	4	1	30	0(中止)	4	1	30	87	4	1	30	85
	教育・保育施設課程(中堅クラス)	13,000	4	1	30	48	4	1	36	130	4	1	36	215
	教育・保育施設課程(リーダークラス)	7,000	1	2	24	27	1	4	24	54	4	1	30	24
	子育て支援者のための連続講座 ※大阪府保育士等キャリアアップ研修	16,000	5	1	30	80	5	1	30	140	5	1	40	172
	障がい児保育専門セミナー	21,000	8	1	30	102	8	1	30	102	8	1	30	86
	0,1,2歳児保育セミナー	-									8	1	30	94
	保育専門研修①②③Zoom	3,500	1	4	①30 ②30 ③30 Z 30	①21 ②33 ③15 Z 22	1	3	①24 ②30 ③30	①24 ②29 ③34				
	障がい等福祉従事者研修(非常勤職員)	1講座2,000 両方受講 3,500	1	2	24	58	1	1	24	27	1	2	24	25
	障がい等福祉従事者研修(世話人)	2,000	1	2	24	51	1	2	24	49	1	2	24	40
問題別 専門研修	新人職員のためのサービスマナーセミナー	5,000	1	3	60	255	1	3	60	241	1	3	70	219
	サービスマナーセミナー・初級クラス	10,000	2	1	70	108	2	1	70	96	2	1	70	112
	サービスマナーセミナー・中級リーダー	10,000	2	1	60	101	2	1	60	125	2	1	70	120
	ハンセン病回復者との交流・人権研修	3,000	1	1	30	7	1	1	30	11	1	1	30	19
	当事者との交流・人権研修	2,000	1	1	15	7	1	1	15	7	1	1	15	12
	人権感覚を豊かにするための研修	①5,000 ②2,000 ③2,000	1	3	①- ②- ③-	①275 ②27 ③46	1	2	①- ②-	①438 ②74				
	施設職員の心のケアを考える講座 (テーマ別②)	3,000									1	1	50	25
援助技術	ファシリテーション研修(基礎編)	10,000	2	1	60	75	2	1	60	64	2	1	60	95
	フォローアップ編 会議ファシリテーション技術ブラッシュアップ研修	6,000	1	1	40	37	1	1	40	26	1	1	40	29
指定職種 担当研修	会計管理者・担当者研修会	①3,000 ②5,000	1	1	①60 ②60	125	1	1	①60 ②60	128	1	1	①60 ②60	108
	栄養士・調理師研修	3,000	1	2	70	95	1	2	70	112	1	2	70	122
施設種別 横断研修	社会福祉法人会計簿記講座(入門・初級)	①40,000 ②30,000	①5 ②1	2	①60 ②-	①217 ②11	①5 ②1	2	①60 ②-	①224 ②18	7	1	80	320
	社会福祉法人会計簿記講座(中級)	30,000	4	1	30	109					6	1	30	159
	広報紙研修会(広報紙編)	-									1	1	40	36
問題別 専門研修	高齢者施設ケアマネジメント研修	10,000	2	1	30	59	2	1	30	54	2	1	30	29
	アウトリーチ型研修	-			68ユニット59 (2法人3施設以上)				58ユニット (2法人3施設以上)				55ユニット (2法人3施設以上)	
問題別 専門研修 (地域福祉)	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	12,500	5	1	70	351	5	1	50	390	5	1	50	230
	CSWスキルアップ(専門Ⅰ・テーマ別)	3,000	1	1	-	28	1	1	40	24	1	1	40	17
	CSWスキルアップ(専門Ⅱ・事例検討)	3,000	1	1	40	22	1	1	40	24	1	1	40	17
	CSWスキルアップ(専門Ⅲ・応用編①)	3,000	1	1	30	17	1	1	30	22	1	1	30	10
	CSWスキルアップ(専門Ⅲ・応用編②)	3,000	1	1	30	23	1	1	30	27				
社協職員 研修	市町村社協新任職員研修会	10,000	5	1	50	424	5	1	50	326	5	1	50	329
	市町村社協中堅職員研修会	3,000	1	3	40	77	1	1	40	18	1	1	40	29
	市町村社協新任事務局長研修会	3,000	1	1	-	3	1	1	-	2	1	1	-	5
	市町村社協管理職員研修会	2,000	1	1	-	5	1	1	-	7	1	1	-	18
組織運営	職員の離職防止のための研修	2,000	1	1	-	90								
職場研修 支援研修	スーパーバイザー養成基礎研修 フォローアップ企画(意見交換会)	-	1	1	20	4	1	1	20	7	1	1	20	11
	福祉職員研修【初任者】受講者交流会	-	1	2	-	30	1	1	-	5				
	福祉職員研修【中堅職員】受講者交流会	-	1	2	-	21	1	1	-	3				
	栄養士・調理師研修会 情報交換会	1,000	1	1	20	20	1	1	40	10				
			4,244				4,237				4,000			

自主研修

1. 介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
資格取得	介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修	大阪府内の施設・事業所で勤務する介護職員等(介護福祉士を含む)であって、不特定多数の医療的ケアを必要とされる方の支援をしているもの、施設長が推薦したもの(介護職員等として、1年以上の経験がある方を推奨)	23	7月4日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職と医療ケア</li> <li>・介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度</li> <li>・保健医療に関する制度</li> <li>・医療的行為に関する法律</li> <li>・チーム医療と介護職員との連携</li> </ul>	小山田 裕一	研修講師(医師)
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体・精神の健康</li> <li>・健康状態を知る項目(バイタルサインなど)</li> <li>・急変状態について</li> </ul>	川内 ひろみ	研修講師(指導看護師)
			23	7月19日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染予防</li> <li>・職員の感染予防</li> <li>・療養環境の清潔、消毒法</li> <li>・滅菌と消毒</li> <li>・喀痰吸引や経管栄養の安全な実施</li> </ul>	河野 かおり 熊坂 有里	研修講師(指導看護師)
			23	7月29日 大阪社会福祉 指導センター	救急蘇生法	後藤 佳代子 松井 友子 川内 ひろみ 江口 由美	研修講師(指導看護師)
			23	8月9日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸のしくみとはたらき</li> <li>・いつもと違う呼吸状態</li> <li>・喀痰吸引とは</li> <li>・人工呼吸器と吸引</li> <li>・子どもの吸引について</li> <li>・吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意</li> </ul>	八尾 英人	研修講師(指導看護師)
			23	8月23日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して)</li> <li>・喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認</li> <li>・急変・事故発生時の対応と事前対策</li> </ul>	熊坂 有里	研修講師(指導看護師)
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持</li> <li>・報告および記録</li> </ul>	後藤 佳代子	研修講師(指導看護師)
			23	8月30日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化器系のしくみとはたらき</li> </ul>	松井 友子	研修講師(指導看護師)
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・消化、吸収とよくある消化器の症状</li> </ul>		
			23	9月5日 オンライン (Zoom)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経管栄養法とは</li> <li>・注入する内容に関する知識</li> <li>・経管栄養実施上の留意点</li> <li>・子どもの経管栄養</li> </ul>	八尾 英人	研修講師(指導看護師)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意</li> <li>・経管栄養に関係する感染と予防</li> <li>・経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認</li> <li>・急変、事故発生時の対応と事前対策</li> </ul>	熊坂 有里	研修講師(指導看護師)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持</li> <li>・報告および記録</li> </ul>							

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
資格取得	介護職員等によるたんの吸引等実施のための研修	大阪府内の施設・事業所で勤務する介護職員等(介護福祉士を含む)であって、不特定多数の医療的ケアを必要とされる方の支援をしているもの、施設長が推薦したもの(介護職員等として、1年以上の経験がある方を推奨)	23	9月20日 大阪社会福祉指導センター	吸引の技術と留意点	川内 ひろみ 後藤 佳代子 河野 かおり 吉永 洋子	研修講師(指導看護師)
					喀痰吸引にともなうケア		
			23	9月26日 大阪社会福祉指導センター	経管栄養の技術と留意点	有馬 美由紀 熊坂 有里 河野 かおり 吉永 洋子	研修講師(指導看護師)
					経管栄養に必要なケア		
			11	10月10日 大阪社会福祉指導センター	演 習	後藤 佳代子 川内 ひろみ 有馬 美由紀 松井 友子	研修講師(指導看護師)
			11	10月11日 大阪社会福祉指導センター		松井 友子 北里 美奈子 八尾 英人 吉永 洋子	研修講師(指導看護師)
			12	10月24日 大阪社会福祉指導センター		北里 美奈子 川内 ひろみ 八尾 英人 熊坂 有里	研修講師(指導看護師)
			12	10月25日 大阪社会福祉指導センター		後藤 佳代子 吉永 洋子 河野 かおり 有馬 美由紀	研修講師(指導看護師)
23	11月13日 大阪社会福祉指導センター	筆記試験	—	—			

2. 認知症介護実践研修 実践者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	認知症介護実践研修 実践者研修（6～8月）	介護現場実務経験2年以上で、認知症の知識を習得している地域密着型サービスに従事している者	70	6月6日 オンライン (Zoom)	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習1(前半)	福井 梨恵	認知症介護指導者
			70	6月11日 オンライン (Zoom)	生活支援のためのケアの演習1(後半)		
					QOLを高める活動と評価の観点		
					家族介護者の理解と支援方法	横田 綾子	認知症介護指導者
					権利擁護の視点に基づく支援		
					地域資源の理解とケアへの活用		
			70	7月2日 オンライン (Zoom)	学習成果の実践展開と共有	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習2(行動・心理状況)	水島 知絵	認知症介護指導者
					生活支援のためのケア演習2(行動・心理状況)		
			69	7月16日 オンライン (Zoom)	アセスメントケアの実践の基本(前半)	村上 宏三	認知症介護指導者 他ファシリテーター4名
					アセスメントケアの実践の基本(後半)		土井 敏之
			69	8月1日 オンライン (Zoom)	職場実習の課題設定	土井 敏之	
			68	8月20日 オンライン (Zoom)	職場実習経過報告		土井 敏之
		職場実習評価	土井 敏之	認知症介護指導者 他ファシリテーター11名			

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	認知症介護実践研修 実践者研修（11～1月）	介護現場実務経験2年以上で、認知症の知識を習得している地域密着型サービスに従事している者	71	11月5日 オンライン (Zoom)	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習1(前半)	福井 梨恵	認知症介護指導者
			71	11月8日 オンライン (Zoom)	生活支援のためのケアの演習1(後半)		
					QOLを高める活動と評価の観点		
					家族介護者の理解と支援方法	横田 綾子	認知症介護指導者
					権利擁護の視点に基づく支援		
			71	11月26日 オンライン (Zoom)	地域資源の理解とケアへの活用	堀尾 直子	認知症介護指導者
					学習成果の実践展開と共有	引野 好裕	認知症介護指導者
					生活支援のためのケアの演習2(行動・心理状況)	水島 知絵	認知症介護指導者
					生活支援のためのケア演習2(行動・心理状況)		
			71	12月10日 オンライン (Zoom)	アセスメントケアの実践の基本(前半)	村上 宏三	認知症介護指導者
					アセスメントケアの実践の基本(後半)		認知症介護指導者 他ファシリテーター4名
			71	12月26日 オンライン (Zoom)	職場実習の課題設定	土井 敏之	認知症介護指導者 他ファシリテーター12名
					職場実習経過報告		認知症介護指導者 他ファシリテーター12名
71	1月16日 オンライン (Zoom)	職場実習評価		認知症介護指導者 他ファシリテーター12名			

3. 保育士・保育教諭のためのスキルアップ研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属	
施設種別階層別研修	(初任・保育施設課程)	3年未満の保育士・保育教諭	未実施	5月24日 大阪社会福祉指導センター	保育の基礎～子どもの育ちとかわりについて～	永井 久美子	神戸女子短期大学 幼児教育学科 准教授	
				5月31日 大阪社会福祉指導センター	記録作成の視点、ポイントについて			
				6月12日 大阪社会福祉指導センター	よりよい保育のためのチームワーク	内田 淑佳		一般社団法人 そだち 代表理事
				6月5日 大阪社会福祉指導センター	子どもの安全を守るには～病気とケガとその対応について～	福井 聖子		大阪小児科医会 理事 大阪府小児救急電話相談 所長
	(中堅・保育施設課程)	3年～10年未満の保育士・保育教諭	12	7月12日 大阪社会福祉指導センター	・気になる子どもへの理解、関わりについて ・インクルーシブ教育(保育)	小田 浩伸	大阪大谷大学 特別支援教育専攻 教授	
			12	7月18日 大阪社会福祉指導センター	・中堅職員としての心構え・役割 ・チームワークとコミュニケーション	内田 淑佳	一般社団法人 そだち 代表理事	
			12	7月25日 大阪社会福祉指導センター	・モチベーションアップ！楽しく保育をするために ・これまでの自分についての振り返りとこれからについて			
			12	7月30日 大阪社会福祉指導センター	子どもの心の育ちを支える保育と保護者支援	大江 まゆ子	関西福祉科学大学教育学部 教育学科子ども発達教育専攻 准教授	
	(リーダー・保育施設課程)	10年以上の保育士・保育教諭 または、専門分野別研修(マネジメント)の専門分野に関して保育所等の保育現場において、リーダー的な役割を担う者	10	11月19日 大阪社会福祉指導センター	【学ぼう「働きやすい職場づくり」】 ・リーダーシップ ・チームワーク 【「専門性」と「メンタルヘルス」の向上を目指して】 ・支援者としてのスキルアップ ・ストレスマネジメント	津村 薫	フェリアン 副所長	
			17	12月6日 大阪府社会福祉会館	【保育における知識と技術と価値・倫理】 ・ディズニーランドの人材育成 ・主体的な人材育成への手がかり 【どう保育士を育てたいか】 ・今どきの指導法 ・人材養成プログラムの作成	津村 薫	フェリアン 副所長	

4. 保護者支援・子育て支援連続講座(大阪府保育キャリアアップ研修)

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	保育士・保育教諭の ための連続講座 子育て支援の視野を広げよう	保護者に対する支援に関わる保育士・保育教諭保育所等の保育現場において、本専門分野に関してリーダー的な役割を担う者(経験年数う概ね3年以上)	16	6月6日 大阪社会福祉指導センター	子育て支援の必要性 ・コロナ禍の保護者の姿を通して考える ・少子化と子育て支援 ・子育て支援がめざすこと ・対応に困っている/困っていた 「気になる保護者」への支援(グループワーク)等	井上 寿美	大阪大谷大学 特任教授
			16	7月4日 大阪社会福祉指導センター	保護者への支援者としてのかわり方を共有し、保護者や子どもの状況からさまざまなニーズの対応や取組みを考える。相談援助のロールプレイを通して具体的な対応、実践方法について学ぶ。	河野 清志	大阪大谷大学 准教授
			16	9月5日 大阪社会福祉指導センター	地域子育て支援拠点事業としての実践から、保護者支援に向けたかわり方や工夫など、地域全体の連携で保護者を支えることや、子育て支援者に必要な専門性について考える。	廣崎 祥子	NPO法人 ふらっとスペース金剛代表
			16	10月17日 大阪社会福祉指導センター	虐待が起きてしまう結果だけでなく、保護者が置かれている現状を知り、具体的に子育て支援の事例の中から保護者の育児不安・育児困難などの要因を探る。	神田 眞知子	認定NPO法人 児童虐待防止協会企画専門員
			16	11月7日 大阪社会福祉指導センター	4回までの学びを基に子育て支援の困難事例を通じて、支援の実際について、グループで検討を行う。	井上 寿美	大阪大谷大学 特任教授

5. 障がい児保育専門ゼミナール

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	障がい児保育専門ゼミナール	障がい児保育に携わる3年以上の保育士	13	5月20日 大阪社会福祉指導センター	障がい児保育についての事例研究  ・指導計画 ・応用行動分析 ・障がいの理解 ・保護者支援と連携 ・精神疾患の理解と精神的な問題を抱えた保護者の支援 ・虐待について ・保護者支援 ・ゼミ総括 等	安原 佳子 木曾 陽子 鶴 宏史 堀古 弥生 井上 直子 小野 史絵	桃山学院大学 教授 大阪公立大学 准教授 武庫川女子大学 教授 (一社)やよい保健師相談事務所 保健師 堺市こども相談所 児童心理司 藤井クリニック ソーシャルワーカー
			13	6月17日 大阪社会福祉指導センター			
			13	7月22日 大阪社会福祉指導センター			
			11	9月9日 大阪社会福祉指導センター			
			13	10月21日 大阪社会福祉指導センター			
			13	11月18日 大阪社会福祉指導センター			
			13	12月5日 大阪社会福祉指導センター			
			13	1月20日 大阪社会福祉指導センター			

6. 保育専門研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	保育専門研修①	中堅～リーダー 保育士・保育共有 (保育経験年数3年以上)	21	8月22日 大阪社会福祉指導センター	子どもを尊重した保育 造形活動を通して子どもの心を育てる	永淵 泰一郎	畿央大学 准教授
	保育専門研修②	中堅～リーダー 保育士・保育共有 (保育経験年数3年以上)	33	9月30日 大阪社会福祉指導センター	こどもがまんなかの保育 こどももおとなもしんどくないかわりを	きしもとたかひろ	保育士・放課後児童支援員
	保育専門研修③	中堅～リーダー 保育士・保育共有 (保育経験年数3年以上)	15	12月18日 大阪社会福祉指導センター	子どもとの豊かなコミュニケーションを築く インリアルアプローチ	安井 千恵	学校法人青丹学園 関西学研医療福祉学院
	(保育専門研修)	中堅～リーダー 保育士・保育共有 (保育経験年数3年以上)	22	11月11日 オンライン (Zoom)	愛着と発達に課題のある親子への支援	橋本 和明	国際医療福祉大学 赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 心理学科 教授

7. 障がい等福祉従事者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	障がい等非常勤福祉職員(従事者)研修	障がい児者福祉施設および救護施設などで非正規職員(非常勤・パート・アルバイト)	30	8月5日 大阪社会福祉指導センター	利用者と支援者の心をつなぐために 【午前:基礎編】 ・職員としての基本姿勢 ・根拠ある利用者への支援方法 【午後:応用編】 ・自分の支援について振り返り ・事例演習(グループワーク)	松本 浩典	釈迦福祉法人 北摂杉の子会 萩の杜 主任
			28				
	障がい等福祉(世話人)研修	障がい者のグループホームの世話人として従事するもの	28	6月3日 大阪社会福祉指導センター	【講義・演習】 ・利用者の意思決定 ・世話人の役割 ・事例演習 ・なりたい世話人像	足立 優奈	社会福祉法人 北摂杉の子会 レジデンスなさはら 主任
			23	8月2日 大阪社会福祉指導センター		濱田 あゆみ	社会福祉法人 北摂杉の子会 レジデンスなさはら 主任

8. 高齢福祉従事者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別階層別研修	高齢者施設で働くための基 本の「き」研修	高齢者施設に勤務する職員及び施設長が認めた職員	196 (11事業所)	5月7日～6月 28日 (動画視聴型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として働くということ</li> <li>・職業人としての心得</li> <li>・チームケアとしてのコミュニケーション</li> <li>・認知症ケアについて(基礎編)</li> <li>・記録の意味</li> <li>・悩みや不安と上手に付き合うには</li> </ul>	山下 聡理  牧村 智広	特別養護老人ホーム 高秀苑 統括  マキムラクリニック 院長

9. サービスマナーセミナー

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	サービスマナーのための 新入職員のための セミナー	4月1日から採用の 新卒職員	90	4月15日 大阪府社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の目的</li> <li>・社会人、組織人としての心構え</li> <li>・PREP法</li> <li>・職場の人間関係 (叱ると怒るの違い)</li> <li>・ビジネスマナーの基本</li> <li>・福祉職にとって人権とは</li> <li>・まとめ</li> </ul>	増田 知乃	(有)レイズ 人財育成コンサルタント
			90	4月18日 大阪府社会福祉会館			
			75	4月19日 大阪府社会福祉会館			
	サービスマナー (初級クラス)	福祉現場で働く初級職員	54	5月28日 大阪府社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い福祉サービスとは</li> <li>・気持ちが通うコミュニケーション</li> <li>・ビジネスマナーの基本</li> <li>・質問表の記入</li> </ul>		
			54	5月30日 大阪府社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日の復習と質問表対応</li> <li>・プロとしての話し方</li> <li>・対人援助のプロになる</li> <li>・これからの私 自己効力感を高め「できる」自分になるために！</li> </ul>		
	サービスマナー (中級・リーダー クラス)	福祉現場で働く中級職員	51	6月24日 大阪府社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉サービスの担い手として</li> <li>・中級リーダーに求められる話力の習得</li> <li>・ビジネスマナーの習得と実践</li> <li>・学び方を知る</li> </ul>		
50			6月25日 大阪府社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日の復習と質問の回答</li> <li>・リーダーシップの発揮</li> <li>・組織力向上と職場の活性化</li> <li>・帰属意識の高い組織となるためのリーダーとして</li> </ul>			

10. ハンセン病回復者との交流・人権研修

問題別専門研修	ハンセン病問題を正しく理解する研修	大阪府の一般府民の方 社会福祉従事者、関係機関の担当職員、ボランティア、本テーマに関心のある方	7	12月13日 オンライン (Zoom)  邑久光明園と研修会場(大阪府社会福祉会館:受講者は集合)をオンラインで結んで開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンセン病の歴史と現状</li> <li>・入所者との交流</li> <li>・邑久光明園の歴史について</li> </ul>	青木 美憲 山本 英郎 太田 由加利	国立療養所邑久光明園 園長 自治会副会長 学芸員
---------	-------------------	--	---	---	---	--------------------------	--------------------------------

11. 当事者との交流・人権研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	当事者・人権の研修	大阪府の一般府民の方 社会福祉従事者、関係機関の担当職員、ボランティア、本テーマに関心のある方	7	10月1日 特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか(TIFA)	世界と出会う空間 TIFAカフェ・サパナ  <ul style="list-style-type: none"> <li>・TIFAの活動について説明を聞く</li> <li>・食を通して国際交流や多文化共生を身近なものに感じる</li> </ul>	葛西 芙紗 筒井 百合子 田坂 百合子	特定非営利活動法人 国際交流の会とよなか(TIFA)

12. 人権感覚を豊かにするための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	人権感覚を豊かにするための研修	福祉施設の一般職員	275 (18施設)	11月27日～1月20日 (動画視聴型)	ウクライナと日本をつなぐ「たすけあいの輪」～希望を持ち続けるために～	カテリーナ・ヤボルスカ 菊地崇	株式会社Faina COO 株式会社Faina CEO
		福祉施設の施設長・管理職員	27	1月10日～2月28日 (動画視聴型)	～旭川荘のあゆみから考える人権の視点とは～ 「生命の輝きに寄り添って」	末光 茂	社会福祉法人 旭川荘 名誉理事長 川崎医療福祉大学 名誉教授
		福祉施設(全分野)の職員でテーマに関心のある方	46	8月7日～9月25日 (動画視聴型)	「福祉経営と人権」～福祉経営者は契約制度にどう対応するか～	林 和彦	ひかり福祉会 代表理事・弁護士

13. ファシリテーション入門研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	ファシリテーション研修 (基礎編)	障がい者施設、保育所や児童養護施設、母子生活支援施設、高齢者施設、各相談支援機関、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの職員	38	7月8日 大阪社会福祉指導センター	福祉施設で働くスタッフに必要な個人とチームの力を高めるコミュニケーションやファシリテーション技術を学ぶ。 効率的・効果的な会議の技法、ホワイトボード・ミーティングを学んで、信頼関係をベースとした合意形成や問題解決力を身につけ、職員の意欲向上、会議力向上、チーム力UP、キャリア形成、さらには働き方改革の柱でもある業務運営の効率化を進める方法を修得する。	ちよん せいこ	株式会社 ひとまち 代表取締役
			37	7月18日 オンライン (Zoom)			
	ファシリテーション技術 (フオーロアップ編)		37	2月3日 大阪社会福祉指導センター	ファシリテーション技術のスキルアップ、ホワイトボードミーティングの進め方を再確認し、職員の意欲向上、人材育成、チーム力アップ、自身のキャリア形成につなげる。		

14. 会計管理者・担当者研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	会計管理者・担当者研修	社会福祉施設の会計管理者・担当者及び法人本部職員	61	9月24日 大阪府社会福祉会館	<b>【入門編】</b> ・会計管理の基礎、税務の基礎知識、事務スケジュール、などの基本の会計や担当者が行う事務等、管理者として知っておくべき概要。  <b>【実践編】</b> 1.事業ごとの会計(決算書)の傾向 会計管理者担当者の注意すべきポイント  2.法令通知改正の紹介(電子帳簿保存法など)	川嶋 良典	島田会計大阪事務所 公認会計士・税理士
			64				

15. 栄養士・調理師研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
指定職種担当研修	栄養士・調理師研修会	社会福祉施設の栄養士並びに調理師(主に高齢・障がい)	47	9月27日 オンライン (Zoom)	看取り期を豊かにする栄養ケア～食への「おもい」に応えるために 栄養士はどう寄りそえるか?～	阿部 茉莉	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津特別養護老人ホーム喜久寿苑 管理栄養士  公益社団法人大阪府栄養士会 福祉部会 理事
		社会福祉施設の栄養士並びに調理師(主に高齢・障がい)	48	10月18日 オンライン (Zoom)	一人ひとりのこどもの発育・発達にあわせた栄養管理と食育の実践～乳幼児期のこどもの『食』を支える専門職の役割～	上田 由香理	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科 講師 管理栄養士

16. 社会福祉法人会計簿記講座

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
施設種別横断研修	社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座①	会計実務担当者(実務経験2年未満程度の方)	47	6月26日 大阪社会福祉指導センター	会計入門	林 光行	一般社団法人 福祉経営管理実践研究会 会長 公認会計士・税理士
			43	7月3日 大阪社会福祉指導センター	仕訳と転記 現金預金などの取引		
			43	7月10日 大阪社会福祉指導センター	試算表と簿記一巡		
			43	7月24日 大阪社会福祉指導センター	精算表 固定資産と固定負債及び純資産の合計		
			41	7月31日 大阪社会福祉指導センター	決算・総復習 実力確認テスト		
施設種別横断研修	社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座②	会計実務担当者(実務経験2年未満程度の方)	11	12月9日～ 2月21日 (動画視聴型)	会計入門	林 光行	一般社団法人 福祉経営管理実践研究会 会長 公認会計士・税理士
					入門編のおさらい 取引記録と勘定科目 仕訳と転記		
					支払資金の取引		
					6桁試算表 6桁精算表 簿記一巡まとめ		
					固定資産と減価償却 減価償却と精算表		
					固定負債と引当金 基本金と国庫補助金等		
					決算とまとめ		
施設種別横断研修	社会福祉法人会計の簿記中級講座	「社会福祉法人会計の簿記入門・初級講座」の受講者および、社会福祉法人の会計実務経験が2年以上程度あり、社会福祉法人会計簿記の基本的な知識をお持ちの会計実務担当者	28	9月4日 大阪社会福祉指導センター	社会福祉法人会計の全体像 会計基準計算書類と財産目録勘定科目	林 光行	一般社団法人 福祉経営管理実践研究会 会長 公認会計士・税理士
			28	9月11日 大阪社会福祉指導センター	支払資金と流動資産流動負債 固定資産の会計と減価償却		
			28	9月25日 大阪社会福祉指導センター	固定負債の会計引当金の会計 純資産の会計		
			25	10月2日 大阪社会福祉指導センター	リース会計区分間取引財務管理 実力確認テスト		

17. 高齢者施設ケアマネジメント

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
問題別専門研修	高齢者施設ケアマネジメント	府内高齢者(入居)施設の介護支援専門員等	30	11月15日 大阪社会福祉指導センター	「施設利用者の生活の理解と個別ケアの視点を養う」  ・施設ケアマネとしての悩みやジレンマ、普段のケアマネジメントの実践等について語り合う ・インタビュー映像の視聴・演習を通して物語と対話に基づくケア(ナラティブ・ベースド・ケア)と根拠に基づくケア(エビデンスド・ベースド・ケア)の関係性と実践するための方法を学ぶ	奥西 栄介	神戸学院大学大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 教授  他ファシリテーター 3名
			29	11月22日 大阪社会福祉指導センター	「その人らしい生活を支援するアセスメントと施設ケアプランの作成に向けて」  ・アセスメントとケアプランをいかに結びつけていくか、受講者自身のケアマネジメントに対する視点や姿勢、内容を確認する演習を行う ・共通事例の各自ケアプラン共有と、共通事例のグループによるケアプラン作成		

18. アウトリーチ型研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
開発的・先進的研修	アウトリーチ型研修	社会福祉施設2法人3施設以上によるユニット	(68ユニット)		ユニットを組んだ社会福祉法人・施設が、より身近な地域で福祉人材の育成と定着をめざして主体的に実施する研修に対し、企画運営の支援をする。 * 人員・期日・会場・研修科目・講師等は、ユニットごとに異なる。		

19. 地域福祉のコーディネーターのためのスキルアップ研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属	
問題別専門研修（地域福祉）	地域福祉コーディネーターのための基礎研修	地域福祉のコーディネーター（福祉専門職）の現任者	72	7月3日 オンライン (Zoom)	地域福祉論～住民福祉活動の視点から～	牧里 每治	関西学院大学 名誉教授	
					実践報告：CSW実践活動の実際から学ぶ「就労中の生活困窮者の支援～施設CSWの取り組みについて～」	西座 久史	軽費老人ホーム来友館 施設長 CSW	
			72	7月12日 オンライン (Zoom)	第4期大阪府地域福祉支援計画	吉崎 啓司	大阪府福祉部地域福祉推進室	
					子どもを取り巻く課題と連携の必要性	寺田 正幸	大阪府福祉部子ども室 家庭支援課	
					ハンセン病回復者と家族のおかれている実態と課題	加藤 めぐみ	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター	
			72	7月25日 オンライン (Zoom)	個別支援と地域支援の展開	川島 ゆり子	日本福祉大学 教授	
					実践報告：地域を基盤とした事例研究「40代のひきこもり支援」	鎌田 真菜	島本町社会福祉協議会 CSW	
			69	8月5日 オンライン (Zoom)	地域におけるボランティア・市民活動の役割～重層的支援体制整備事業の参加支援・地域支援～	新崎 国広	ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰	
					実践報告：地域における協働実践「なはみまもりフォーラムの取り組み」	前川 三奈	那覇市社会福祉協議会 地域福祉課	
			66	8月29日 大阪府社会福祉会館	CSWとつながる専門職/多職種連携 地域福祉コーディネーターの役割について学ぶ	小野 達也	桃山学院大学 教授	
	【スキルアップ・専門事例検討・応用編】	地域福祉のコーディネーター（福祉専門職）の現任者（概ね経験2年以上）		28	10月23日 オンライン (Zoom)	【専門Ⅰ・テーマ別】 居住支援に対する理解と地域福祉コーディネーターができる支援とは	石川 久仁子 磯野 由美子	大阪人間科学大学 准教授 社会福祉法人桃林会 とりかい白鷺園
				22	11月18日 オンライン (Zoom)	【専門Ⅱ・事例検討】 福祉施設と多様な主体との協働のあり方について	室田 信一 大竹 愛美 古谷田 高穂 大野 理英	東京都立大学 准教授 神奈川県社会福祉協議会 社会福祉法人プレマ会 法人本部 社会福祉法人プレマ会 施設相談員
				17	12月24日 大阪府社会福祉会館	【専門Ⅲ・応用①/演習】 個別支援と地域支援の展開	川島 ゆり子	日本福祉大学 教授
				23	2月10日 大阪社会福祉指導センター	【専門Ⅲ・応用②/学び合い】 住民の声を形にする事業提案の動き方	浦田 愛	文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係 係長

## 20. 市町村社協職員研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
社協職員研修	市町村社協新任職員研修会	市町村社協に勤務する3年未満の職員	85	4月16日 大阪府社会福祉会館	社会福祉協議会とは ～歴史・理念・役割を学ぶ～	難波 志保	大阪府社会福祉協議会 地域福祉部
					大阪における社協活動の実際について	小笠原 伊織	大阪府社会福祉協議会 地域福祉部(地域)
					市町村社協職員としての自分自身を描こう!	立花 直樹	関西学院短期大学 准教授
			83	4月22日 オンライン (Zoom) ※動画収録+ 5/13まで限定 公開	ボランティア・市民活動センターの役割 と災害支援について	本田 和也	大阪府社会福祉協議会 地域福祉部(VC)
					共同募金の取り組みと社協との 関わり	熊谷 優人	大阪府共同募金会
					社協が行う相談支援とさまざまな 事業の理解 ・生活福祉資金 ・生活困窮者自立支援事業	石井 慎太郎 山下 拓真	大阪府社会福祉協議会 生活支援部 地域福祉部
					・日常生活自立支援事業	木越 美佳子	大阪府社会福祉協議会 権利擁護推進室
					大阪しあわせネットワークの実際 について	渡邊 憲史	大阪府社会福祉協議会 社会貢献推進室
			84	4月26日 大阪府社会福祉会館	ファシリテーションの基礎を学 ぶ	奥西 春美	株式会社 ひとまち ホワイトボード・ミーティング®認定講師
					コミュニティワーク入門	金田 喜弘	佛教大学 専門職キャリアサポート センター 講師
			86	5月8日 交野市立保健福祉総合セン ター 他 (現地研修)	【現地視察】 市町村社協と地域の連携につい て	各務 正敏 田伏 高治 松葉 智子 大西 幸夫	交野市社会福祉協議会 かたの福祉会 事務局長 豊年福祉会 明星 私市小学校区福祉委員会 委員長
			86	5月14日 大江ビル	【新任職員へのメッセージ】 市町村社協 先輩職員が 語る仕事の魅力とやりがい	安井 夕稀 山下 洋平	河内長野市社会福祉協議会 泉佐野市社会福祉協議会
					目指したい自身の将来像や社協 の組織像を描こう!	立花 直樹	関西学院短期大学 准教授

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
社協職員研修	市町村社協中堅職員研修会	市町村社協に勤務しておおむね5年～15年の職員	25	10月11日 ドーンセンター	コミュニティワーク機能と役割について	金田 喜弘	佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 講師
			26	11月29日 大阪社会福祉指導センター	チームリーダーとしての心構えについて	空閑 浩人	同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授
			26	12月6日 ドーンセンター	コミュニティワーク実践事例について	金田 喜弘 猪俣 健一 熊抱 潤	佛教大学 専門職キャリアサポートセンター 講師 阪南市社会福祉協議会 次長 阪南市社会福祉協議会 主任
	市町村社協新任事務局長研修会	市町村社協のおおむね3年までの新任事務局長	3	7月10日～ 8月28日 (動画視聴型)	増進型地域福祉とは ～社会福祉協議会に求められる役割～	小野 達也	桃山学院大学 教授
					ハラスメントのない職場環境づくり	澤村 一誠	株式会社MIRAIO TERRACE 代表取締役
	市町村社協管理職員研修会	市町村社協の法人運営部門を担う事務局長・次長及び課長等	5	7月10日～ 8月28日 (動画視聴型)	ハラスメントのない職場環境づくり	澤村 一誠	株式会社MIRAIO TERRACE 代表取締役

## 21. 職員の離職防止のための研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
組織運営	職員の離職防止のための研修	施設長・管理者・所長または、採用担当者・テーマに関心のある職員など	90	9月12日～ 10月31日 (動画視聴型)	職員の離職防止研修	福嶋 潤一	(株)ツクイスタッフ 教育研修部 課長

## 22. フォローアップ研修

種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	スーパードバイザー養成基礎研修 (フォローアップ企画 意見交換会)	受講修了者	4	8月29日 大阪社会福祉 指導センター	【意見交換】 基礎研修後の自分の振り返り、 自施設での実践結果・課題・悩み 等の共有 話してみても聞いてみて、気づいた こと・感じたこと、みんなで考える 理想的なSV	(運営は研修 G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
	福祉職員研修 交流会 【初任者】	福祉職員研修 【初任者】	10	5月29日 大阪社会福祉 指導センター	【意見交換】 今どのような気持ちで働いている のか、仕事のやりがいや手ごたえ、 ちょっと困っていること、研修で 学んだことを職場でどのように 実践しているか等について、同じ 立場の仲間同士で意見交換を行う。	(運営は研修 G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
			20	9月17日 大阪社会福祉 指導センター		(運営は研修 G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
種別	研修名	対象	人員	期日 会場	研修科目	講師名	所属
職場研修支援研修	中堅職員のための 意見交換会	福祉職員研修 【中堅職員】	12	6月18日 大阪社会福祉 指導センター	【意見交換】 研修で学んだことを職場でどのよ うに実践しているか、中堅職員と しての課題や悩み等について、 同じ立場の仲間同士で意見交換 を行う。	(運営は研修 G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
			9	10月22日 大阪社会福祉 指導センター	【意見交換】 研修で学んだことを職場でどのよ うに実践しているか、中堅職員と しての課題や悩み等について、 同じ立場の仲間同士で意見交換 を行う。	(運営は研修 G職員による)	大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修G
	栄養士・調理師研修会 情報交換会	受講修了者	20	1月27日 オンライン (Zoom)	【事前質問の解説】 看取り期の栄養ケアに関すること 普段の業務での課題 等 子どもの発育・発達にあわせた 栄養管理と食育の実践に関する こと 【情報交換】 参加した研修を振り返り、施設で の業務で課題に感じられること等 について、研修講師も交えて意 見交換を行い、学び合う。	阿部 栄利  上田 由香理	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 大阪府済生会中津特別養護老人 ホーム喜久寿苑 管理栄養士 公益社団法人大阪府栄養士会 福祉部会 理事  大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 講師 管理栄養士

## 研修事業に関するアンケート(2024年度) 事務局まとめ

### 1 回答数

2021年度:233件  
2022年度:276件  
2023年度:225件  
2024年度:431件

(実施時期:2024年12月~2025年1月)

### 2 研修プログラムへの期待と研修参加の効果・成果

本センターの研修プログラムに期待すること	人数	(昨年度)	順位
1. 利用者支援の視点の獲得	128	84	上昇
2. とくに新任向けの基礎力の向上	113	50	-
3. 支援における技術面の向上	129	90	下降
4. より高い専門性や応用力の向上	175	66	上昇
5. 人権意識の向上	131	61	-
6. モチベーションの向上	156	92	下降
7. 職場のチームワーク強化	141	60	上昇
8. リスクマネジメントの意識強化と事故予防	140	48	上昇
9. 離職を減らすため	72	41	-
10. 他法人・施設との交流・情報交換ができる	106	57	下降
11. 人事評価の指標とするため	18	17	下降
12. 処遇改善加算対象研修のため	62	5	上昇
13. 外部監査、第三者評価等の評価向上のため	11	6	-
14. 資格取得のため	22	15	上昇
15. 自施設では研修実施が難しい	11	29	下降
16. その他	7	2	-

研修プログラムへの期待として、前年度は⑥職員のモチベーションの向上、③支援における技術面の向上、①利用者支援の視点の獲得 の割合が高かったが、令和6年度は①より高い専門性や応用力の向上、⑥職員のモチベーションの向上、⑦職場のチームワーク強化 が特に求められている。

研修に参加した効果・成果	人数	(昨年度)	順位
1. 職員のモチベーションが高まった	138	71	－
2. 離職が減り、定着につながっている	5	2	－
3. 人間関係の改善につながり、チームワークが良くなった	26	12	－
4. 虐待予防やリスクマネジメントへの問題意識が高まった	82	29	－
5. 利用者支援の視点や価値観が身に付いた	88	29	－
6. 支援スキル・技術が向上した	112	44	－
7. 専門知識を習得した	162	78	－
8. その他	11	4	－

研修参加した効果・成果としては、令和 5 年度、6 年度ともに①専門知識の習得、②職員のモチベーションの向上、③支援スキル・技術の向上 の割合が高く、概ね期待どおりの成果が得られていることが伺える。

前年度と比較すると、「より高い専門性や応用力の向上」「職場のチームワーク強化」「リスクマネジメントの意識強化と事故予防」といった項目の順位が上昇しており、職員の定着・育成に直接関係するプログラムへの期待が高い(高まっている)ことが垣間見える。

また、前年度比較で「利用者支援の視点の獲得」が「より高い専門性・応用力の向上」を上回っており、「とくに新任向けの基礎力の向上」の順位も上がっていることも勘案すると、全体的に基礎的な知識・視点・能力の向上への期待が高まっている傾向がみられる。

さらに、「他法人・施設との交流・情報交換ができる」「自施設では研修実施が難しい」といった、外部研修の必要性や、交流・情報交換のニーズも一定数あることが確認できた。

### 3 次年度の研修参加について、検討中・参加しないとする理由

検討中・参加しない理由	人数	(昨年度)	順位
1. 現場の人員体制が厳しい	87	39	－
2. 予算がない、受講料が高い	12	9	下降
3. 研修内容がニーズと合っていない	24	9	－
4. 会場が遠い	31	13	上昇
5. しばしば研修日程が合わない	53	28	－
6. いつ募集・研修実施しているかわからない	5	0	－
7. 自施設で独自に研修を実施	19	9	下降
8. 他の研修機関に参加している	31	16	－
9. その他	8	3	－

多い理由では、「人員体制が厳しい」「研修日程が合わない」が多く、一部に「会場が遠い」といった意見もあり、前年度同様の結果となった。これらの声からも、引き続き、研修そのものへの参加が厳しい現状は変わらないが、オンライン・オンデマンド研修の活用により、一定の参加条件をクリアできる見込みがあると考える。

#### 4 本センターへの研修の企画・運営について改善等の要望

一番要望が多かったのが「オンデマンドの研修を増やしてほしい」(227)であり、次に「オンラインでの研修を増やしてほしい」(184)、次いで、「グループワークなど参加者同士の学び合い・情報交換を中心とした研修を増やしてほしい」(141)「集合研修を増やしてほしい」(130)、との結果となった。オンデマンド形式での開催を望む声が大きいものの、一方でグループワーク主体や集合研修の情報交換へのニーズも高く、研修目的等によって精査していく必要がある。

#### 5 参加してよかった研修(抜粋)

##### **【老人】**

・キャリアパス研修、感染症予防対策講習会(オンデマンド)、喀痰吸引等研修、認知症実践者研修、介護技術の基本(オンデマンド) 等への評価が高い

##### **【保育】**

・キャリアアップ研修、キャリアパス研修、感染症・食中毒予防対策講習会(オンデマンド)、保育に関する専門研修等 等への評価が高い

##### **【児童・母子】**

・キャリアパス研修、児童施設課程、ファシリテーション研修 等への評価が高い

##### **【救護・障がい】**

・障がい児者・救護施設課程、キャリアパス研修については、多数の評価があった  
・その他、感染症予防対策講習会(オンデマンド)、個人情報保護研修、サービスマナーセミナー 等への評価が高い

##### **【社協】**

・新人職員研修、中堅職員研修、ファシリテーション研修 への評価が高かった

#### 6 初任者・中堅等階層別研修 または 専門職種別の研修等における具体的な要望等について(抜粋)

##### **【老人】**

・各職員のスキルやモチベーションが上がるような研修を希望します。  
・リーダークラスに対するチームビルド、主任クラスに対するマネジメント力の向上  
・外国人介護職員の研修(技術・介護用語(微妙な日本語の表現「少し・少々・僅か・若干の違い」等))  
・施設の栄養士に特化した研修をもうけて欲しい

## 【保育】

- ・初任・中堅・上司のあり方
- ・人権保育の研修、不適切なかかわりをしない保育など
- ・離乳食の与え方や食育について

## 【児童・母子】

- ・コミュニケーションの能力向上や集団遊びを主導できる実地研修
- ・一人職場が多い専門職にとっては研修で他施設の職員と交流することがモチベーション向上、離職防止に大きく役立っていると考えられるため、集合型の研修が有効と考えます。

## 【救護・障がい】

- ・初任者は1～3年の研修の充実、専門職ではサビ管の横の繋がりがもてるような研修
- ・現場主任クラスのスーパーバイズ、新人向けの障がい特性を理解深める研修
- ・他法人の職員さんと交流し影響を受けながら、この仕事への意欲を相互に高めて欲しい。特に中堅以上の職員になると法人内で同じ立場の職員が少ないため貴重な学び・交流の場になる。

## 7 大阪府社協主催の研修(研修グループ、施設部会等)に対するご意見、内容や受講のしやすさ等についてのご意見(抜粋)※部会会員施設向け

- ・課題・改善が必要と感じる内容については、「研修グループや他部署等から同じような研修内容が案内されている」(25)、「それぞれから案内が届くが研修に参加しづらい(日程・職員体制など)」(24)が多かった。
- ・内容や受講のしやすさ等については、「研修ニーズが高い研修テーマの設定」(206)、「受講しやすさ(開催日・会場・実施方法)」(75)、良質な研修内容(講師・内容)が多かった。

## 8 職員育成についての課題について(抜粋)

### 【老人】

- ・新しく職員が入職したときに、OJT ができる人員が不足しており、通常業務に追われてしまうため、新人を十分に指導することが難しい/ユニット型施設の為、従来型に比べるとOJTが弱い。特に独り立ちしてからの育成をOFF-JTに偏る傾向がある
- ・人材不足により、じっくり教育をする人材の確保も時間の確保も難しい
- ・リーダーや相談員など、中核を担う職員にはなりたくないという考えをもつ職員が少なくない。加えて、福祉系の大学や専門学校の新卒採用がここ何年もの間で来ていない。
- ・職員のスキルレベルにバラツキがあり経験や知識の差が大きく、一貫したケアの質を維持することが難しい。
- ・全ての職員に研修の機会を与えたいと思うが、人員不足や感染症等で思うようには出来ていない。特に雇用契約職員や派遣職員、特定技能外国人、中堅職員など、それぞれに合った内容で研修の機会を提供し、育成に繋がりたいが業務に追われている。

### 【保育】

- ・一般的な社会人としてのマナーや職員間の上下関係について/社会人としてのマナー(言葉遣い等)が低下している
- ・中堅保育教諭への指導が難しい/中堅になるまでに離職してしまう

- ・保護者対応に悩み、職員の気持ちが折れるもしくは折れてしまう。組織全体で対応することを意識しているが、よい研修があればぜひ参加してよりよい方法等を学びたい。
- ・保護者がTVやネット情報に感化され、今まで経験の無い理不尽な要求や言葉等が増えている。中には保育士のメンタルケアが必要な事案もあり、管理職対応が多くなっている。

### 【児童・母子】

- ・経験年数の浅い職員が多くなり、OJT だけでは足りないと感じる面がある。知識だけではなく実践に活かせるスキルをどのように伝え積み重ねていけるか課題がある。
- ・人材不足で研修への参加も難しい/研修参加したい場合においても、職員不足により勤務が回らずあきらめていることがある。オンラインやオンデマンド配信であれば参加できる場合もあるので、参加しやすさが優先となってしまっている
- ・業務時間内にスタッフが集まる機会が持ちにくい。そのため、ケース会議や情報共有が出来ずアセスメント能力の低下がみられる。
- ・キャリアパスなど長期的な視点に沿った職員育成が必要との思いがある。職員にとっても将来展望は仕事のモチベーションを維持するうえで大切な要素となっている。しかし、離職率やメンタルヘルスを考えると新任職員へのサポートが喫緊の課題であり、長期的な視点にまで手が及びにくいのが実状である。その中でも法人全体として制度を整えようとする取り組みは始めている。

### 【救護・障がい】

- ・中堅どころの職員育成。次世代に伝える役割を担う層が薄い/中堅層からのスペシャリストの育成が難しい
- ・スーパーバイズができていないので、モチベーションの向上につながりにくい
- ・管理者より年上の職員に対しての助言・指導が行き届いていない
- ・社会人として、組織の一員としての基本的なスキルを身に付けてもらうことの難しさを感じています。
- ・基礎研修を充分行っていない/支援の基本を学べていない
- ・人材不足もあり、考えている研修に参加できないことがある。育成するためにも研修は必要。

### 【社協】

- ・採用条件に専門性を求める(資格要件等)と応募が少なくなるため、採用条件を緩和すると、応募はあるが、入職後の育成に時間と費用がかかる。
- ・新卒者への基本的な社会人マナーの習得/中途採用者に対して、社協職員としての意識をどのようにもってもらうか
- ・中堅職員の社協業務へのやりがい獲得
- ・業務引継ぎ業務のやり方が不一致/適正な人員配置の仕方/人事異動の頻度や年数など

## 8 新卒の新人職員の定着促進・離職防止に向け工夫していること、効果があった取り組み

(抜粋)

### 【老人】

- ・新人職員一人に対し、先輩職員が担当するチューターを配置し、業務面や精神面をサポートしている。
- ・現場の職員が新人研修を実施し、不安の軽減や職場への親しみを持てるよう取り組んでいる。
- ・新入職員支援制度(プリセプター制度)
- ・現場のリーダー以上の役職者の夜勤を外し、フォロー体制を強化したことで効果が出てきています。
- ・福利厚生面では誕生日祝金を進呈したり、ハラスメントの起こらない職場環境を作るため、職員の自主性を重んじた職場の雰囲気づくりなど

## 【保育】

- ・1年目は業務を覚える立場として、責任ある書類や電話対応をさせず、年次ごとに1つずつ責任のある仕事をさせていく/新卒の新人職員が4月から早々に負担がかからないように、シフトや書類面等の負担を配慮し、とにかく保育が楽しい、子どもが好きと感じられることを重視して育成していける体制を全職員が理解してフォローしています。
- ・コミュニケーションを頻繁にとる。良いところを認め、注意する所を的確につたえる。精神的ケアを大切にす/新人職員とのコミュニケーションを常にとるようにし、悩み事などがあれば相談にのりやすい雰囲気作りを気にかけて信頼関係を築くようにしています
- ・年齢の近い職員が指導係として丁寧に指導し、すぐに相談できる環境を整えています。
- ・正規職員は複数での配置にして丁寧に教えてくれる先輩につけるようにしている
- ・1～2年先輩との交流を積極的にできるよう働きかける、園全体が仲の良い雰囲気作り、休暇を取りやすくする(園長、主任に申出る形ではなくカレンダーに記述し、リーダー職員がまとめをする)

## 【児童・母子】

- ・新任育成をする担当を付けて、リーダー職員が交代で振り返りや職員の思いなどを定期的に聞いている。
- ・先輩職員の立場となる全ての職員が新人職員に対し業務上の指導だけでなく悩みの相談等にも丁寧にに関わり、職場全体で職員を育てることを意識することを目指している。
- ・施設内 OJT(朝引き継ぎの際の施設長によるケース理解のための指摘・指示)、若手職員が相談しやすい雰囲気作り(ベテラン職員からも声をかける)“おせっかい”をし職員を孤立・孤独にさせない。
- ・年齢が近いアドバイザーを置き、日常会話を大切にし悩みを早期にキャッチ出来るようにしている

## 【救護・障がい】

- ・入職前研修、または入職後研修の実施/同期のつながりは大切だと感じるので、採用が決まってから、働き出してからも同期同士が集まれる機会を作っています
- ・入職後、一定期間毎日の振り返り記録と面談を業務時間内で実施。翌日に必ず記録への返答し、疑問等がすぐに開所できるようにする。マニュアルの整備、進捗状況の管理、担当職員を固定し、できるだけ新人が混乱しないようにしている。また、外部研修の利用により、一般マナーや接遇、緊急時の対応などの参加を実施。
- ・成果を求めず、利用者の障がい特性を理解してもらい、出来る事から始めていってもらおう事。時間を作り、その都度話し合いをする事 出来る限り、環境面に配慮して話を聞く事
- ・ICTの導入、メンタルヘルス対策の強化(メンター制度)、リフレッシュ休暇(1年に1回7日連続休みが取れる制度)、賃上げ(基本給・住宅手当)、ノー残業
- ・実習受け入れ校との密なつながりを大切にしています。学生さんのゼミや実習を担当されている先生方とのつながりを特に大切にしています。実習からアルバイトやボランティアに繋げ、そのまま就職に繋がると、学生の時から手細やかな指導をしているので、定着できています。

## 【社協】

- ・スローペースでの業務内容の習得
- ・1日の業務量の確認、細かい声掛け
- ・定期的なヒアリング実施/こまめに面談等を実施
- ・職員とコミュニケーションをよくとることに気を付けている。
- ・研修など学びの機会を多くし、同じ視点で業務にあたるように努めている。